愛知県埋蔵文化財センター
基本マニュアル 2026



愛知県埋蔵文化財センター　2026_11

愛知県埋蔵文化財センター基本マニュアル目次

1 発掘調査編

A 発掘調査にかかわる表記 ――――――――――――――――――――――― 2
　a 遺跡名の表記 ――――――――――――――――――――――――――― 2
　b 調査区の表記 ――――――――――――――――――――――――――― 4
　c 遺構名の表記 ――――――――――――――――――――――――――― 5
　d 遺物カード（ユポ）の表記 ――――――――――――――――――――― 5

B 発掘調査の手順 ――――――――――――――――――――――――――― 6
　a 調査計画と事前準備 ――――――――――――――――――――――――― 6
　b 現場設備と事務所・安全衛生 ――――――――――――――――――― 13
　c 使用機材 ――――――――――――――――――――――――――――― 13
　d 座標・グリッド――――――――――――――――――――――――――― 14
　e 土層の認識 ――――――――――――――――――――――――――――― 16
　f 表土掘削・包含層掘削 ――――――――――――――――――――――― 17
　g 遺構検出 ――――――――――――――――――――――――――――― 17
　h 遺構掘削・遺物取り上げ ――――――――――――――――――――― 18
　i 遺構記録 ――――――――――――――――――――――――――――― 19
　j 遺跡公開 ――――――――――――――――――――――――――――― 19

C 発掘調査の記録 ――――――――――――――――――――――――――― 20
　a 調査工程・計画表・打ち合わせ記録 ――――――――――――――――― 20
　b 調査日誌・各種属性表 ――――――――――――――――――――――― 21
　c 各種図面 ――――――――――――――――――――――――――――― 22
　d 写真 ――――――――――――――――――――――――――――――― 26
　　e 電子納品データ整理規則――――――――――――――――――――― 27
　　f 現場からの遺物搬入 ――――――――――――――――――――――― 33

2 整理作業編

A 遺物整理の方法 ――――――――――――――――――――――――――― 36
B 第１次整理（発掘調査業務） ――――――――――――――――――――― 37
C 第２次整理（報告書作成業務） ――――――――――――――――――――― 38

3 報告書作成編

A 報告書の仕様 ――――――――――――――――――――――――――― 44

■ 註にある「てびき（発掘）」は『発掘調査のてびき - 集落遺跡調査編 -』、「てびき（整理）」は『(同)- 整理・報告書編 -』（いずれも文化庁文化財部記念物課 2010）に対応する。

■ 発掘調査で使用する考古学用語は、同上「てびき（発掘）」に準拠する。

1

愛知県埋蔵文化財センター基本マニュアル 2026

発掘調査編

A 発掘調査に関わる表記

a 遺跡名の表記

遺跡は、4項目によって構成される遺跡記号によって表記される。
1996 年度までは 3 項目による遺跡記号。

第 1 項目（大地域区分）＿愛知県域を大河川で区分し、その間を1つの地域とする。
アラビア数字で1～ 4。ローマ数字は使用禁止とした。
第 1 地域＿木曽川から庄内川までの地域
第 2 地域＿庄内川から矢作川までの地域
第 3 地域＿矢作川から豊川までの地域
第 4 地域＿豊川から天竜川までの地域

第 2 項目（郡・市）　＿遺跡所在の郡・市別の固有記号。アルファベット。
合併が進んだが、1997 年時点の市町村域で固定。

第 3・4 項目（遺跡名）＿遺跡の固有記号。アルファベット。

大地域区分（第 1 項目）



郡市記号（第2項目）

1997 年から設定。固定制

A：海部郡（1；七宝町・美和町・甚目寺町・
大治町・蟹江町・十四山村・
飛島村・弥富町・佐屋町・
立田村・八開村・佐織町）
安城市（2）
渥美郡（4；田原町・赤羽根町・渥美町）
B：尾西市（1）
C：知多市（2）
D：常滑市（2）
E：稲沢市（1）
碧南市（2）
東加茂郡（3；足助町・下山村・旭町）
F：知立市（2）
G：高浜市（2）
蒲郡市（3）
H：葉栗郡（1；木曽川町）
半田市（2）
幡豆郡（3；一色町・吉良町・幡豆町）
I：一宮市（1）
J：犬山市（1）
豊明市（2）
K：春日井市（1）
刈谷市（2）
北設楽郡（3・4；設楽町・東栄町・
豊根村・富山村・
津具村・稲武町）
L：江南市（1）
知多郡（2；阿久比町・東浦町・南知多町・
美浜町・武豊町）
M：小牧市（1）
南設楽郡（3・4）鳳来町・作手村
N：名古屋市（1・2）
O：大府市（2）
宝飯郡（3）音羽町・一宮町・
小坂井町・御津町
P：豊田市（2・3）
Q：西尾市（2・3）
R：岩倉市（1）
S：瀬戸市（2）
新城市（3）
T：津島市（1）東海市（2）
豊川市（3）豊橋市（4）
U：愛知郡（2；東郷町・長久手町）
V：岡崎市（2・3）
W：西春日井郡（1）西枇杷島町・豊山町・
師勝町・西春町・春日町・
清洲町・新川町
西加茂郡（2）三好町・藤岡町・小原村
X：丹羽郡（1）大口町・扶桑町
Y：中島郡（1）祖父江町・平和町
日進市
Z：尾張旭市（2）
額田郡（3）幸田町・額田町

※下線のある市町村名は合併等により 2010 年度末までに消滅。

遺跡記号（3 項目式：1996 年以前）

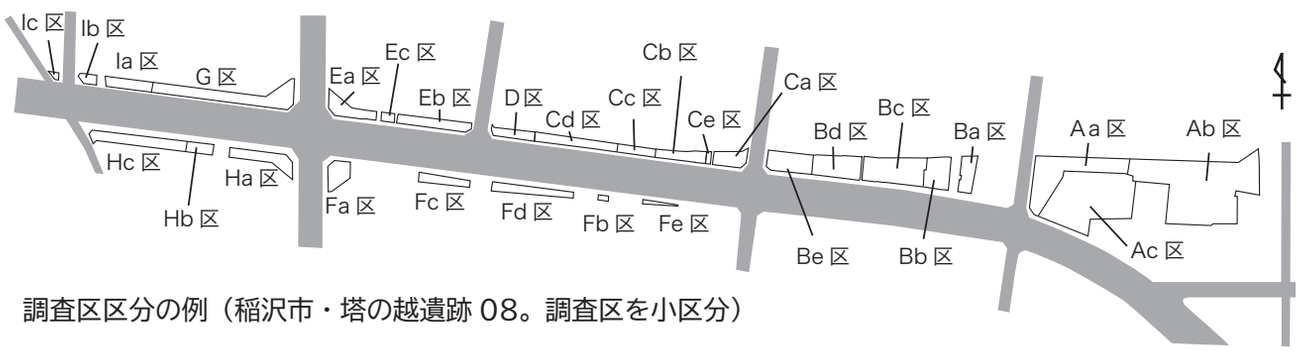
1AS	朝日遺跡	1JO	大渕遺跡	2NN	ＮＡ 335 号古窯群	3SH	杉山端城跡
1AW	朝日西遺跡	1KC	町田遺跡	2NS	名古屋城三の丸遺跡	3SJ	島田陣屋遺跡
1BH	東新規道遺跡	1KJ	清洲城下町遺跡	2NT	高針原 1 号窯	3SK	清水遺跡
1BK	東苅安賀道遺跡	1KK	勝川遺跡	2OE	円通寺遺跡	3SS	杉山遺跡
1BM	馬引横手遺跡	1KM	門間沼遺跡	2OM	森岡 1 号窯	3SW	諏訪遺跡
1EA	跡ノ口遺跡	1KT	土田遺跡	2SK	上品野遺跡	3TA	麻生田大橋遺跡
1EF	船橋宮裏遺跡	1KM	廻間遺跡	2SO	小田妻古窯跡群	3TB	三本松遺跡
1EG	儀長正楽寺遺跡	1MD	松河戸遺跡	2TE	烏帽子遺跡	3TJ	淡洲神社北遺跡
1EH	堀之内花ノ木遺跡	1MT	三ツ井遺跡	2TI	伊保遺跡	3TN	根川遺跡
1EK	下津北山遺跡	1NH	月縄手遺跡	2TM	松崎遺跡	3TS	三斗目遺跡
1EN	一色長畑遺跡	1NK	包里遺跡	2TO	大脇城跡	3TT	高樋遺跡
1EO	大縄遺跡	1NO	貴生町遺跡				
1HI	一色青海遺跡	1SS	外町遺跡	3AS	坂口遺跡	4AK	川地遺跡
1IG	権現山遺跡			3HS	下山古墳	4TM	森岡遺跡
1IH	八王子遺跡（一宮）	2AK	加美遺跡	3HT	鳥羽城跡遺跡	4TN	上ノ平遺跡
1II	大毛池田遺跡	2AN	西山・藤井遺跡	3KH	広坪遺跡	4TS	境川遺跡
1IJ	岩倉城跡	2AU	上万場遺跡	3KS	牛ノ松遺跡	4TY	吉田城址
1IK	苅安賀遺跡	2CK	刀池古窯跡群	3KT	東光寺遺跡		（吉田城遺跡）
1IM	毛受遺跡	2KS	志賀公園遺跡	3KU	不馬入遺跡		
1IN	西上免遺跡	2MK	黒笹 40・89 号窯跡	3MI	石堂野遺跡		
1IO	大毛沖遺跡	2MK	子持古窯跡	3NK	小島遺跡		
1IT	田所遺跡	2MT	立楠古窯跡	3NM	室遺跡		
1IT	北道手遺跡	2NI	池下古墳	3NO	岡島遺跡		
1IY	山中遺跡	2NH	細口下 1 号窯	3NS	志貴野遺跡		
1JA	阿弥陀寺遺跡	2NK	鴻ノ巣古窯	3RK	黄金堤		

遺跡記号（4 項目式：1997 年以降）

1AHB	日置本郷 B 遺跡	2ASS	惣作遺跡	2SNM	西松山峠窯跡	3PKH	栗狭間遺跡	4KHR	ハラビ平遺跡
1AKB	川部遺跡	2AYJ	寄島遺跡	2SOT	大坪西遺跡	3PKN	柿根田遺跡	4KHD	引田遺跡
1AKW	川田遺跡	2CSG	桜鐘古窯群	2SSK	惣作・鐘場遺跡	3PMK	南川遺跡	4KIH	石原遺跡
1EIJ	一色城跡	2DNC	夏敷古窯跡	2SSS	下品野遺跡	3PMMA	丸山 A 遺跡	4KKB	胡桃窪遺跡
1EKH	北丹波・東流遺跡	2DSI	四池 A 古窯	2STC	凧山 C 窯跡	3PMMB	丸山 B 遺跡	4KKH	川向東貝津遺跡
1EKM	鎌倉街道周辺遺跡	2DJB	蛇廻間古窯跡	2STU	塚原 1 号窯跡	3PMMC	丸山 C 遺跡	4KKK	栢ノ久保遺跡
1EKN	上中・西屋敷遺跡	2HOF	奥町 F 窯跡	2STY	凧山屋敷遺跡	3PMMD	丸山 D 遺跡	4KKT	上戸神遺跡
1ENK	長野北浦遺跡	2JYS	薬師ケ根遺跡	2SUG	鷺窯跡	3PMS	孫石遺跡	4KMG	南ヶ岳遺跡
1ESN	山王遺跡	2LAD	細田古窯	2SUT	宇トゲ窯跡	3PMT	孫田遺跡	4KMS	マサノ沢遺跡
1ETK	塔の越遺跡	2LGR	権六遺跡	2SWK	若宮 1 号墳	3PNU	野田内遺跡	4KMZ	万瀬遺跡
1HNK	西海塚遺跡	2LHC	八巻古窯	2SYS	吉野遺跡	3POBA	オンボ A 遺跡	4KNJ	西地・東地遺跡
1HST	須ヶ谷遺跡	2NDP	断夫山古墳	2UIG	I-G-2 号窯跡	3POBB	オンボ B 遺跡	4KOG	大栗遺跡
1IDH	伝法寺本郷遺跡	2NHT	平手町遺跡	2UYZ	岩作城跡	3POBC	オンボ C 遺跡	4KOH	大畑遺跡
1IDN	伝法寺野田遺跡	2NMJ	名城公園遺跡	2VKB	小針遺跡	3PSA	皿田 A 遺跡	4KOM	大名倉丸山遺跡
1IMK	南木戸遺跡	2NNA	NA311 号窯	2WKG	KG93 号窯跡	3PSKA	菅ノ口 A 遺跡	4KOS	大崎遺跡
1IMY	町屋遺跡	2NNF	西二葉町遺跡	2WOD	大平本城	3PTIA	鶴ケ池 A 遺跡	4KSD	笹平遺跡
1INJ	猫島遺跡	2NUS	牛牧遺跡	2YND	西田面遺跡	3PTIB	鶴ケ池 B 遺跡	4KSN	下延坂遺跡
1ISM	島崎遺跡	2OBS	別岨古窯	2YSG	三ケ所遺跡	3PTSA	トヨガ下 A 遺跡	4KSR	境川林道遺跡
1LMY	南山町遺跡	2OFK	福池古窯	2ZIW	金萩遺跡	3PTSB	トヨガ下 B 遺跡	4KSZ	添沢遺跡
1LNK	中般若北浦遺跡	2PGG	郷上遺跡			3PTSC	トヨガ下 C 遺跡	4KTS	滝瀬遺跡
1MTN	多気中町東遺跡	2PHG	本川遺跡	3ENM	能見城跡	3PUY	内山遺跡	4KNC	根道外遺跡
1RGJ	御山寺遺跡	2PIC	今町遺跡	3ESY	城山城跡	3PYS	矢並下本城跡	4KWO	上ヲロウ・下ヲロウ遺跡
1RSB	蕎麦田遺跡	2PKH	川原遺跡	3HNG	西川原古墳	3PZH	蔵平遺跡		
1RSD	下新田遺跡	2PMF	御船城跡	3HOM	岡山南遺跡	3PWR	和倉遺跡	4SNT	中山砦跡
1RTD	寺田遺跡	2PMI	水入遺跡	3NKS	古新田遺跡	3SIG	石岸遺跡	4TFM	普門寺旧境内
1WAS	青山神明遺跡	2PTJ	天神前遺跡	3OHN	羽根遺跡	3SIJ	石座神社遺跡	4THA	東中田 A 古窯
1WHM	廻間遺跡	2PUD	上ノ段遺跡	3OSK	高坂遺跡	3SKH	加原遺跡	4THI	浜池遺跡
1WNK	中之郷北遺跡	2PUY	内山遺跡	3PAR	荒山古墳群	3SKJ	欠下城跡	4THS	東下地遺跡
1XGN	郷中遺跡	2PYB	矢迫遺跡	3PGD	牛寺遺跡	3SKS	柿下遺跡	4THY	東屋敷遺跡
1XSK	白木遺跡	2PYM	寄元古墳群	3PHGA	引地上切 A 遺跡	3SMS	モリ下遺跡	4TKJ	キジ山古墳群
1XTK	高木遺跡	2SHE	廻間 E 窯跡	3PHGB	引地上切 B 遺跡	3SSN	須長 10 号墳	4TKN	萱野遺跡
1XHT	堀尾氏邸跡	2SHJ	瓶子窯跡	3PHGC	引地上切 C 遺跡	3SYT	吉竹遺跡	4TNU	西浦遺跡
		2SHS	長谷口遺跡	3PHKA	朴ノ木 A 遺跡	3THN	花の木古墳群・花の木遺跡	4TNZ	野添遺跡
2AGT	五反田遺跡	2SHT	八王子遺跡（瀬戸）	3PHKB	朴ノ木 B 遺跡			4TSU	晴雲寺址
2AHB	東端城跡	2SHZ	北山窯跡	3PHM	日面遺跡	3THK	花の木北遺跡	4TTH	多り畑遺跡
2AHS	姫下遺跡	2SKA	勘介窯跡	3PHZ	東小笹遺跡	3TMG	曲松遺跡		
2AKH	上橋下遺跡	2SKD	川合 D 窯跡	3PIUA	猪移り A 遺跡	3VAO	荒追遺跡		
2AKZ	亀塚遺跡	2SKE	上品野 E 窯跡	3PIUB	猪移り B 遺跡	3VKZ	車塚遺跡		
2AMS	宮下遺跡	2SKH	桑下東窯跡	3PJB	神デン B 遺跡	3VMT	松下遺跡		
2AMD	向田遺跡	2SKJ	桑下城跡	3PKB	コヤバ遺跡	3VNM	西牧野遺跡		
2AMM	宮下南遺跡	2SKK	上品野蟹川遺跡	3PKDA	北野田遺 A	3VTK	滝町遺跡		
2ANH	中狭間遺跡	2SKN	上品野西金地遺跡	3PKDB	北野田遺 B	3VYB	八畝畑遺跡		
2ASK	下懸遺跡	2SMT	万徳峠遺跡	3PKDC	北野田遺 C				
		2SNB	中洞窯跡	3PKG	神谷上切遺跡				

b 調査区の表記

調査年度（西暦）下2桁 +A・B・C・・・と呼称する。
さらに小区画する場合は Aa・Ab・・・。遺構面は A1・A2・・・と付す。

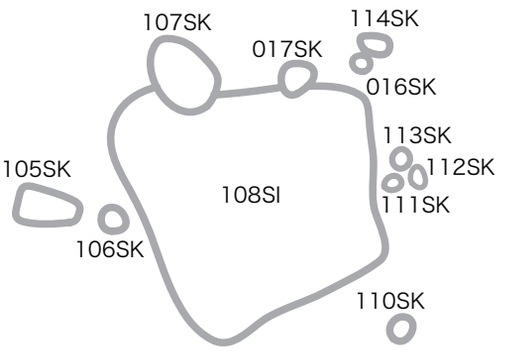


調査区区分の例（稲沢市・塔の越遺跡 08。調査区を小区分）

c 遺構名の表記

調査区ごとに通し番号、その後ろに遺構記号、で表記。→てびき（発掘）P.241-243
概ね確認した順。見直しなどにより欠番になった際はそのままのほうが混乱しない。

SA	塀・柵・土塁
SB	建物（竪穴建物以外）_ building
SC	廊 _cloister
SD	溝 _ditch
SE	井戸
SF	道路
SG	池
SH	広場
SI	竪穴建物
SJ	土器埋納遺構 _jar
SK	土坑・貯蔵穴・落とし穴
SL	炉・カマド
SM	盛土・貝塚 _mound
SN	水田・畑
SP	柱穴 _pit
SS	礎石・葺石・配石 _stone
ST	墓・埋葬施設 _tomb
SU	遺物集積 _unit
SW	石垣・防護壁 _wall
SX	その他
SY	窯
SZ	古墳・墳丘墓・周溝墓
NR	自然流路 _natural river



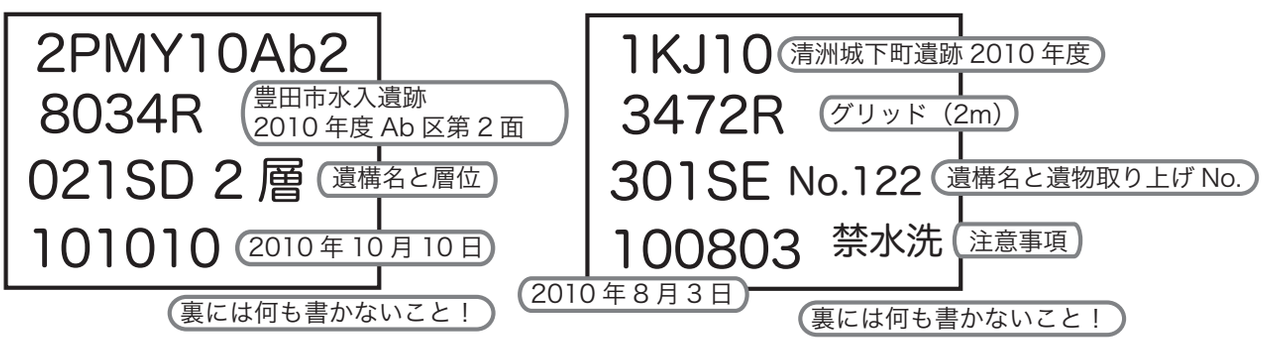
略測図での遺構名表示例

調査区	遺構記号	グリッド	地層	長軸
KS08Ba	001SK	3G7i	1	0.
KS08Ba	002SK	3G7i	1	0
KS08Ba	003SI	3G7i	1	2.
KS08Ba	004SI	3G8i	1	0.
KS08Ba	005SK	3G8j	1	0.
KS08Ba	006SI	3G8i	1	3.
KS08Ba	007SK	3G8j	1	0.
KS08Ba	008SK	3G8i	1	0.
KS08Ba	009SK	3G8j	1	2.

遺構一覧表での遺構名表示例

d 遺物カード（ユポ）の表記 →てびき（発掘）P.130

遺物に関する最も基礎になる情報であり、簡潔に明示されていることが重要である。
基本的には 4 行構成。
（1）遺跡名＋調査区
（2）グリッド
（3）遺構名・層位・ドット取り上げ No.
（4）日付。
（付）注意事項（洗浄禁止など）。



B 発掘調査の手順

a 調査計画と事前準備 →てびき（発掘）P.56-58

関係諸機関への文書提出。県教育委員会および地元教育委員会と連絡を密にする。
事業者との打ち合わせ。
場内・周辺環境の確認（排土・排水・産廃・危険箇所）。
調査チームを組織。工程の確認。
地元への告知・挨拶。施行内容・工程の説明。
調査前地形測量（必要に応じて）。→てびき（発掘）P.81-84

※民地の取扱いについて

- 民地を利用する際や本発掘調査 A 等で掘削する場合、特段の注意をはらうこと。
- 民地での発掘調査の場合、発掘届に地権者の承諾書が必要になります。事業者に確認すること。
- 現状復旧が基本となるため、砕石等には十分気を付けること。
- 小さな灌木であっても、事業者の許可なく伐採することはできない。
- 埋設管や側溝など、傷つけないように注意するとともに、事業者と連絡を密にとること。

b 現場設備と事務所・安全衛生

フェンスと看板設置により、調査区および作業場エリアの明示。
事務所設置（別途仕様に基づく、遺物1次整理機能完備・インターネット完備）。
安全衛生はセンター「安全衛生マニュアル」に基づく。

事務所設備



監督員ほか詰所（2 階）と作業員休憩所（1 階）



看板



フェンス



トイレ



器具庫



水洗施設

c 使用機材 →てびき（発掘）P.58-61

発掘機材は、調査精度や作業効率を左右する。
良品を使用することを心がけ、日常の手入れ・点検が肝要である。
土木機材（重機・トラック・安全装置付きベルトコンベア・発電機・配電盤・鋼板・道板など）
掘削道具（包含層掘削用、スコップ・ジョレン・箕。遺構検出用、手ガリ。遺構掘削用、手スコ、おたま）
測量機材（電子平板を基本とする。手測り実測も電子化。プリンター）
撮影機材（デジタル一眼レフカメラによる撮影を基本とする。）仕様は P.20
遺物洗浄用具（遺物洗浄乾燥用カゴ・ハケ・ブラシ）
遺物収納用具（指定コンテナ・チャック付きビニル袋各サイズ・遺物カード（ユポ）・大型遺物梱包用不織布など）
保護排水道具（シート・土嚢・ノッチタンク・水中ポンプ・バケツ・柄杓・スポンジ）
その他（チェーンソーなど環境に応じて。発電機・配電盤・コードリール・研ぎ器）

d 座標・グリッド →てびき（発掘）P.85-87

使用機材

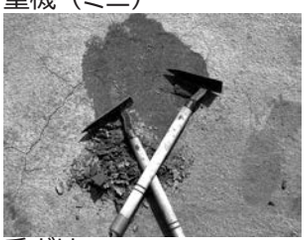

重機


重機（ミニ）


ダンプトラック（2t）


スカイマスター

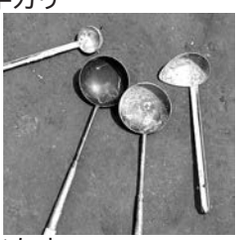

手スコ


手ガリ


角スコ


クローラーダンプ


ジョレン


おたま


ハケ（手ボウキ）


水中ポンプ（2inch）


ピンポール・角杭


ベルトコンベア（結束状況）

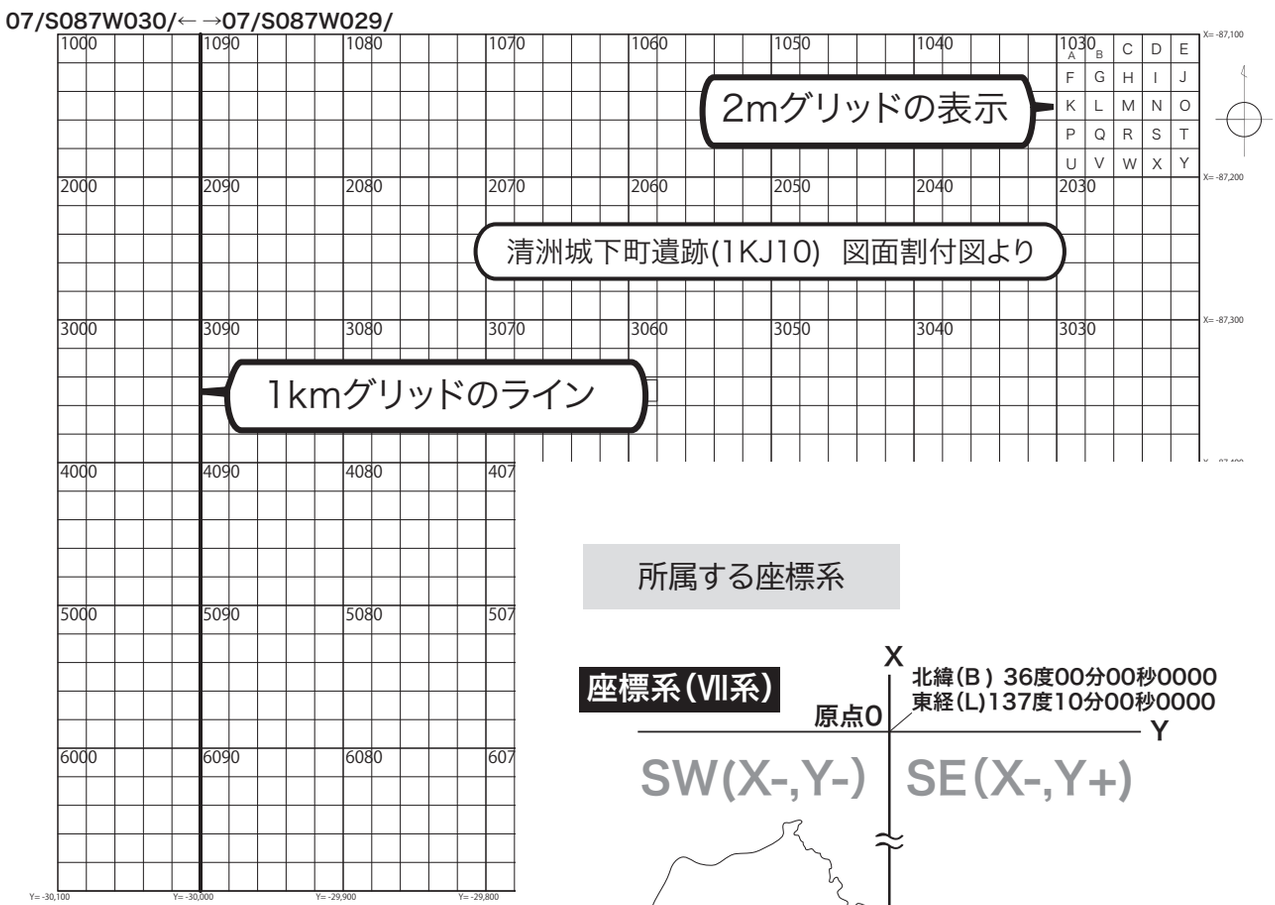

遺物洗浄カゴ


シート・土のう

座標・グリッド表示方法は『てびき』により、全国的な基準で表示する。
愛知県では平面直角座標Ⅶ（07）系を適用する。
平面実測図表題には 1km グリッドを表示する。
遺物カードには、10m グリッド以下を表示する。
10m グリッドを遵守（以下の分割は 2m グリッド→ A ～ Y + Z。5m か 1m は座標値から 6 桁表示）。
小グリッドの選択は、遺跡の性格・遺構や遺物の密度などを考慮し協議のうえ決定。

e 土層の認識 →てびき（発掘）P.94-103、P.110-116

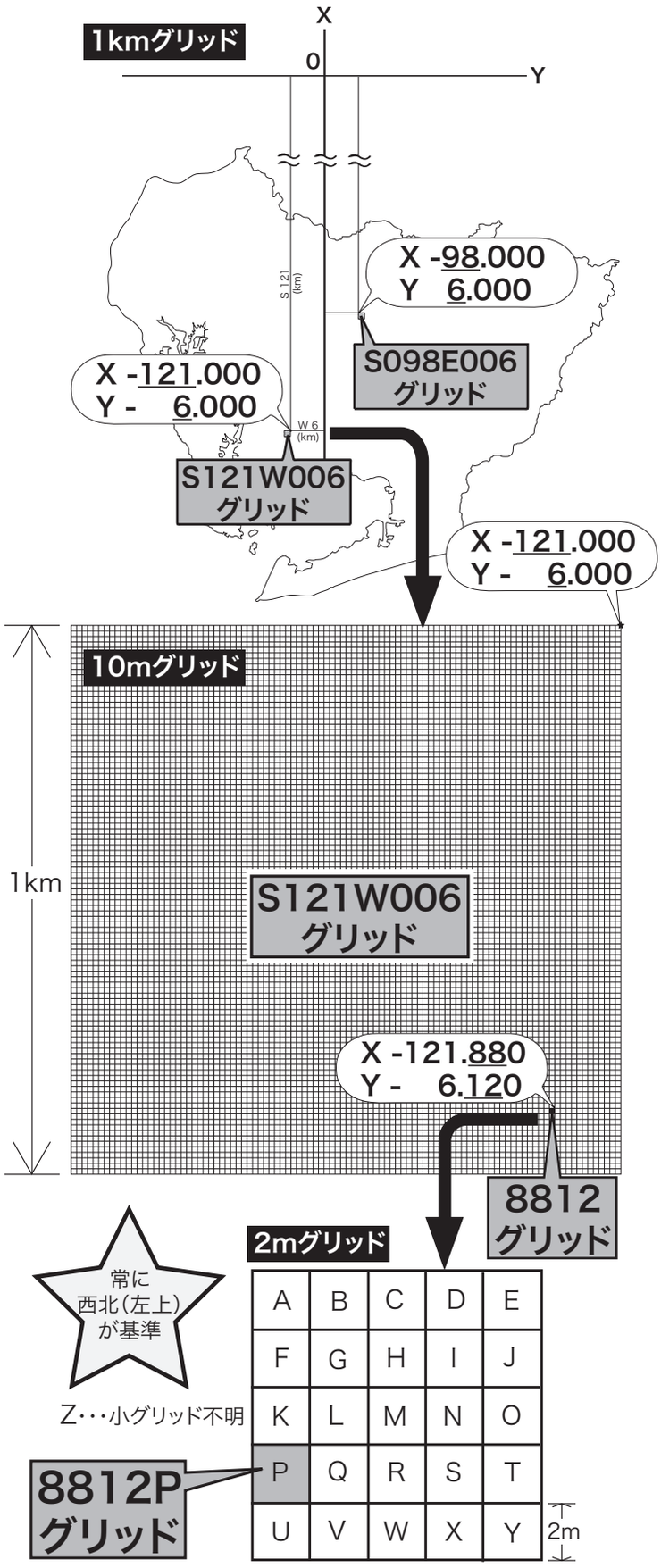
平面図におけるグリッド表示例



所属する座標系



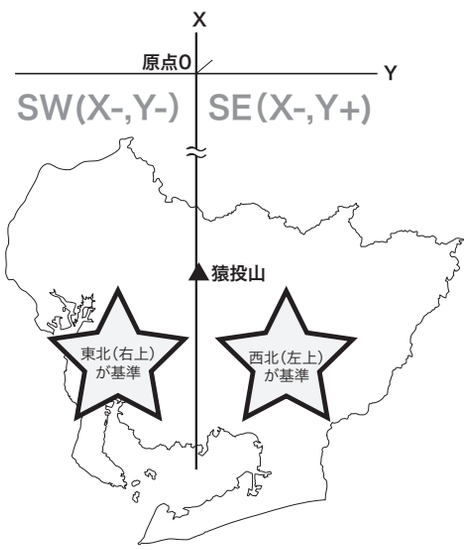
1km グリッド表示から 2m グリッド表示まで

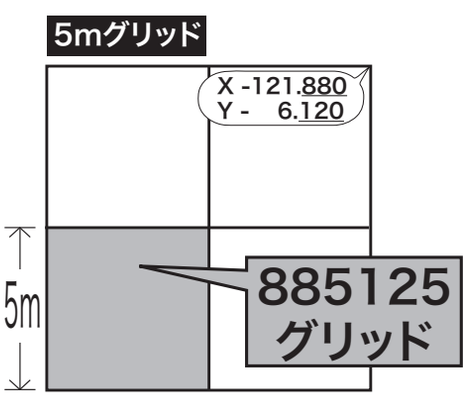


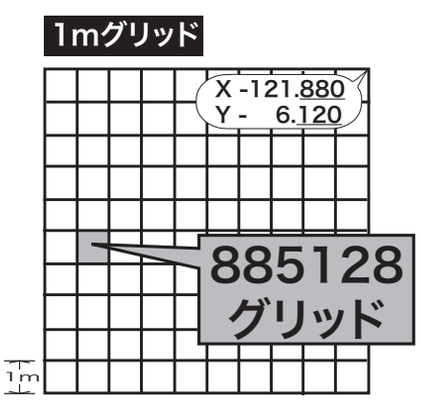
※2mグリッドのアルファベットは、左上から数える。
小グリッドの表示点は全て北西角。

<参考>

※5m・1mグリッドは座標値をそのまま用いるため、小グリッドの表示点はSWでは東北角、SEでは北西角となるので注意する。







センターにおける表示方法（鬼頭 2009_地下研 Wiki）。概ね上位層から No. 付け。
土層 No.+ 色（マンセル値＋色名）＋粒度（ウェントワース 1922）＋混入物（礫・遺物・炭化物など）。
遺跡ごとの基本土層の把握（自然堆積層・人為層の区分）。

1. 地層をつくる砂や泥の粒度区分はウェントワースの粒度区分に基づいて記載をする。
2. 粒度・色調により客観的に分けられる地層の境界は「実線」で表わす。
3. 記載者独自の判断により主観的に分けられた地層の境界は「点線」で表わす。
4. ひと目見て地層の状況がわかるよう、断面図には砂層や礫層を模様で示したり、地層の色調などの情報を描き入れる。
5. 断面図には地層を区分（分層）した人の氏名を記入する。

f 表土掘削・包含層掘削 →てびき（発掘）P.104-109

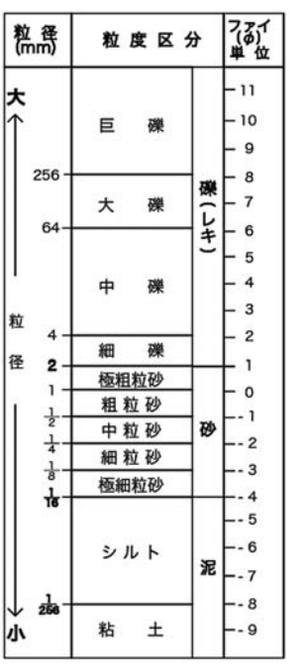


図1 ウェントワースの粒度区分

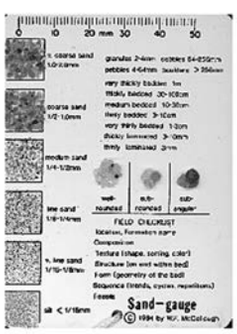


図2 サンド・ゲージ

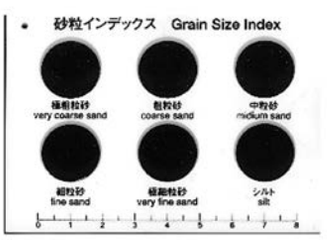


図3 カード型標準試料のインデックス・ケース

←↑粒度区分とその見本

遺跡調査の工程と精度を大きく左右する作業であり、慎重かつ検証しながら進める。
重機によって包含層・遺構面まで表土除去。掘削深度・法面は安全確保が第一。
トレンチ（試掘坑）にて遺構面数・基盤層の確認。遺跡（調査区）基本土層の設定。
包含層は遺構検出面を確認しながらの作業であり、単なる掘り下げではない。

g 遺構検出 →てびき（発掘）P.118-122



重機による表土掘削



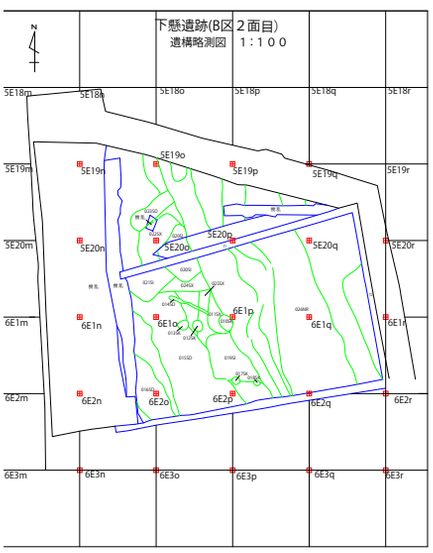
包含層掘削作業

適宜測量を実施し略測図（重複関係を表現）を作成。遺構番号付す。
略測図は、作業進行段階ごとに PDF ファイル化。
段下げにより柱穴の確認、および重複関係の確認。
掘立柱建物跡についてはこの時点で写真撮影を実施。→てびき（発掘）P.256
遺構検出は遺構を検証する重要な作業であり、その状況は写真撮影記録（場合によっては全景撮影）。 →てびき（発掘）P.254

h 遺構掘削・遺物取り上げ

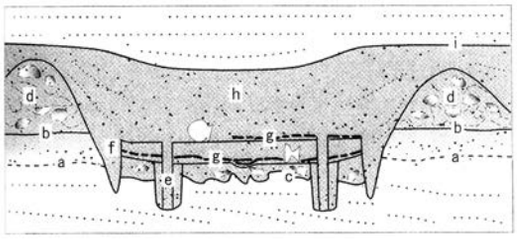


遺構検出作業



略測図（途中経過を示す）

遺構の掘削手順は『てびき』による。
竪穴建物 →てびき（発掘）P.131
掘立柱建物 →てびき（発掘）P.158
溝 →てびき（発掘）P.201
井戸 →てびき（発掘）P.206



てびき（発掘）図 89 より
c: 加工面
g: 機能面（床面）

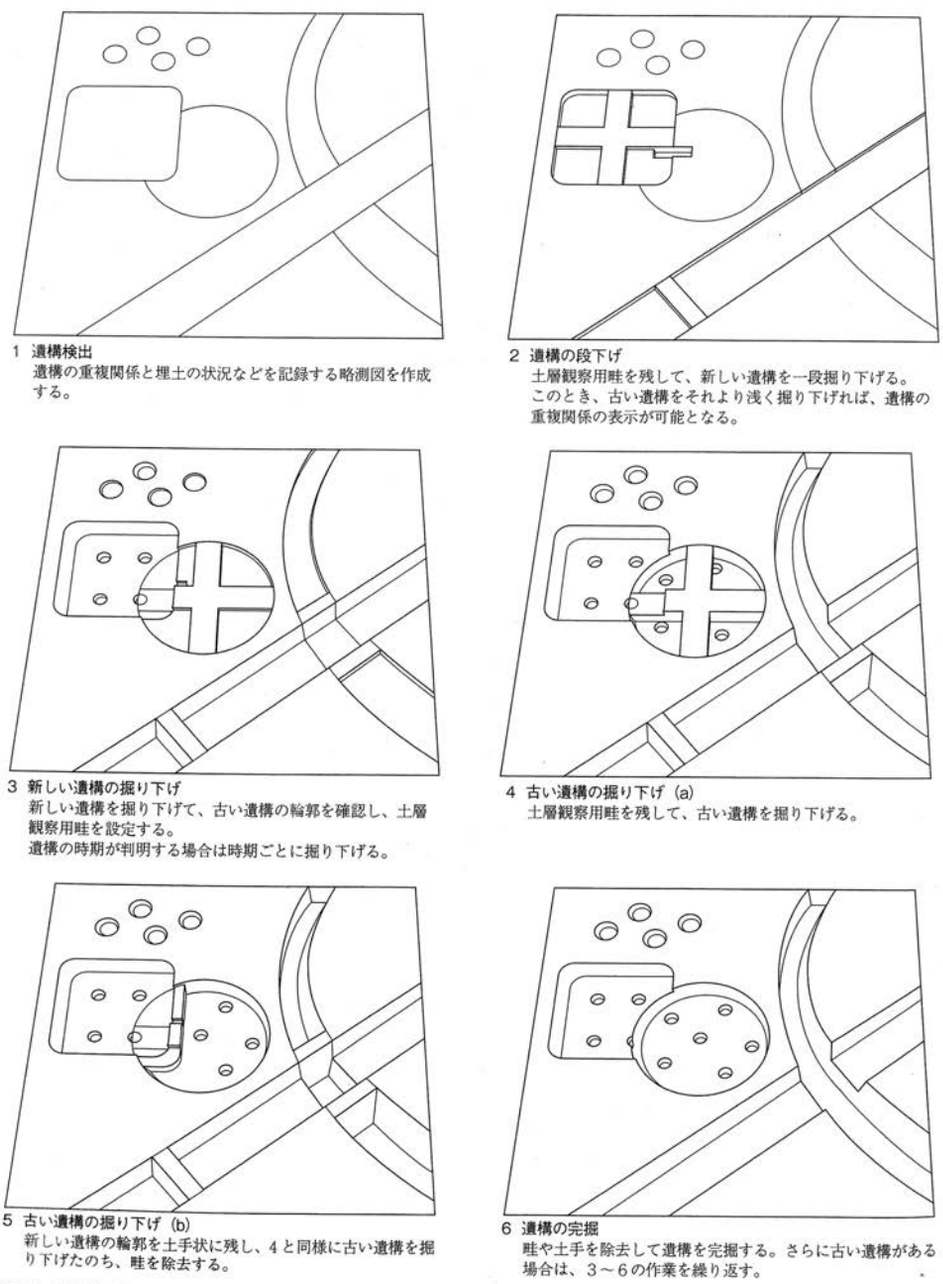
遺構の加工面と機能面の区分と後者の重視（竪穴建物）

沖積地では重複関係や深度が判然としない事例が多い。そのためサブトレンチによ　る検証作業も要する場合がある。 →てびき（発掘）P.121-

遺物取り上げは出土状況の観察と必要が想定される場合にその記録をとってからお　こなう。カード（ユポ）は速やかに作成。 →てびき（発掘）P.128

重要遺物・脆弱遺物の取り上げ・保管ならびに自然科学分析やサンプル採集についてはセンター自然科学分析室と相談して計画的に進める。 →てびき（発掘）P.274

i 遺構記録



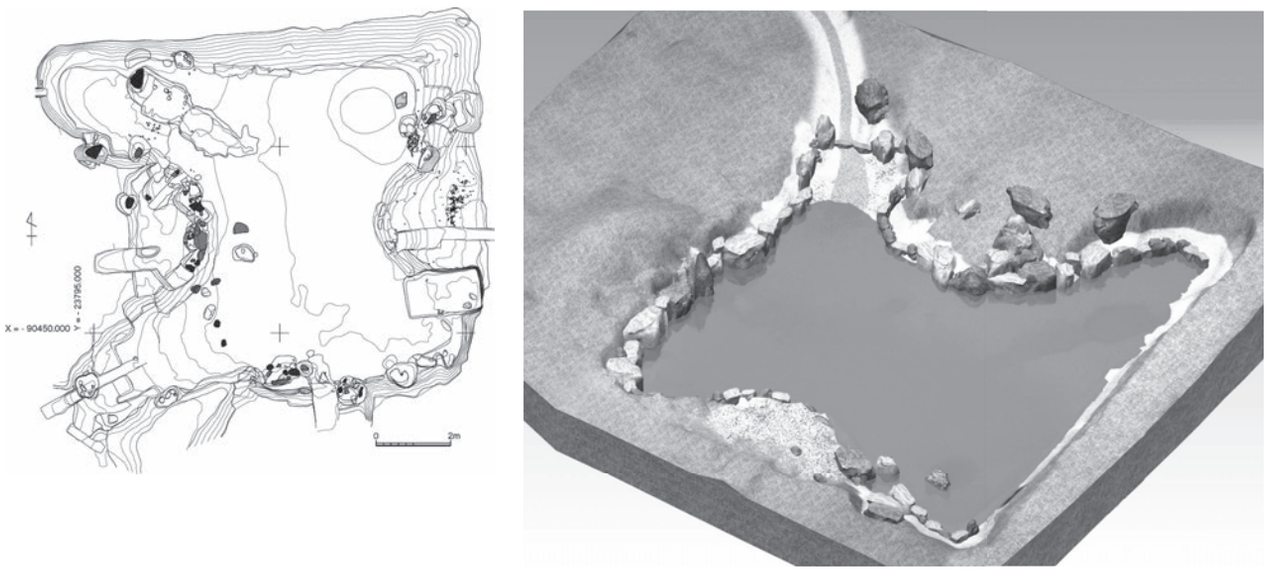
時期の異なる遺構の発掘手順（『てびき』P.126 より転載）

遺構の記録方法は電子平板と写真撮影を基本とする。

遺構や遺物出土状況が複雑な場合には、写真測量やレーザー測量の技術を援用し、実感的な記録に努める。

遺構（石室・井戸）の解体や遺物取り上げ状況は動画で記録するのがよい。

j 遺跡公開



名古屋城三の丸遺跡の庭園遺構（平面図とコンピュータ・グラフィックス）

遺跡公開は、文化財保護理念の普及のために必要であり、専門家の見解を得るためにも安全に配慮しつつ積極的に行なうべきである。

現地説明会（記者発表）は関係所管への所定の手続きを経て実施する。

地元説明会は地元（町内会など）への限定的な資料配布により実施。

月報を作成し、掲示および配布する。

a 調査工程・計画表と打ち合わせ記録





下懸遺跡の地元説明会のご案内

日頃は、埋蔵文化財の調査・研究につきまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。この度、安城市小川町で発掘調査中の下懸遺跡の地元説明会を、下記の通り実施する事になりましたのでご案内申し上げます。

下懸遺跡は、三河地域で初めて古代の木簡が出土したことで注目されていますが、今年度の発掘調査でも古代の木簡が発見されました。

記

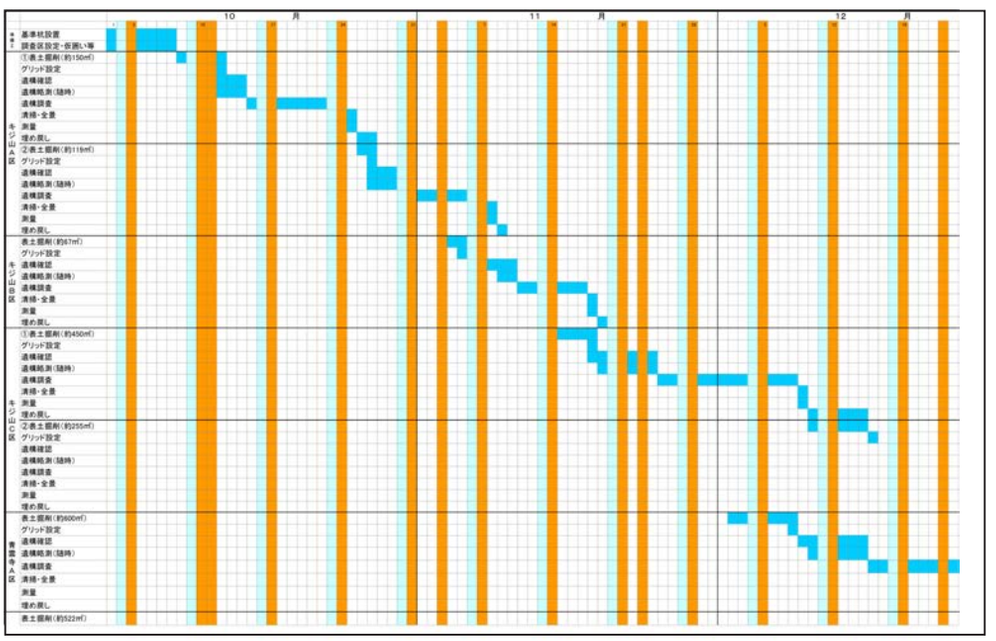
1 日 時　平成 22 年 2 月 27 日（土曜日） 午前 10 時～
2 場 所　安城市小川町 下懸遺跡調査区
3 内 容　調査成果の説明、出土品の展示
4 主 催　（財）愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター
電話 0567-67-4163 http://www.maibun.com
安城詰所 安城市小川町向田 電話 0566-99-8171
5 駐車場　駐車スペースがありませんので、公共交通機関をご利用下さい。
名鉄西尾線 桜井下車 徒歩 15 分

地元説明会とその案内

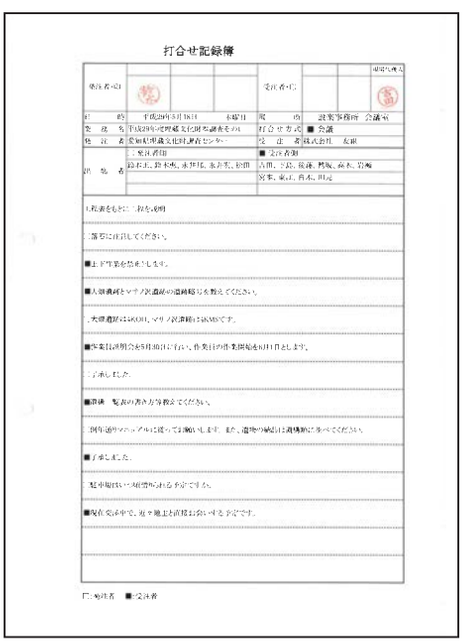
C 発掘調査の記録

調査工程・計画表は全体・月間・週間で作成し、PDF データで保管。
週間工程会議や事業者などとの打ち合わせ記録簿も PDF 化。

b 調査日誌・各種属性表



調査工程表の例



打合せ記録簿

発注者⇒				受注者⇒	
日　時	平成29年5月18日　　木曜日		場　所	設楽事務所　会議室	
業　務　名	平成29年度埋蔵文化財発掘調査その1		打合せ方式	■ 会議	
発　注　者	愛知県埋蔵文化財調査センター		受　注　者	株式会社　友和	
出　席　者	○発注者側 鈴木正、鈴木弘、永井悦、永井英、松田		■ 受注者側 八田、○谷、後藤、熊坂、森本、岩海 安東、東江、青木、川辺		

1.現場をもとに一段ずつ説明

2.落ちに注意してください。

■土ドリ作業を禁止します。

■人頭機械をマテリアル運搬の道順順序を教えてください。

3.大型運搬は5500t、マテリアル運搬は1t以内です。

■作業員説明会を5月30日に行い、作業日の作業開始を6月1日とします。

4.了承しました。

■設備　配置の置き方等教えてください。

5.例年通りマニュアルに従ってお願いします。また、遺物の破損は現場前に集めてください。

■了承しました。

6.駐車場はいつ頃頃にある予定ですか。

■現在交渉中で、近々地主と面談をおこなう予定です。

○：発注者　■：受注者

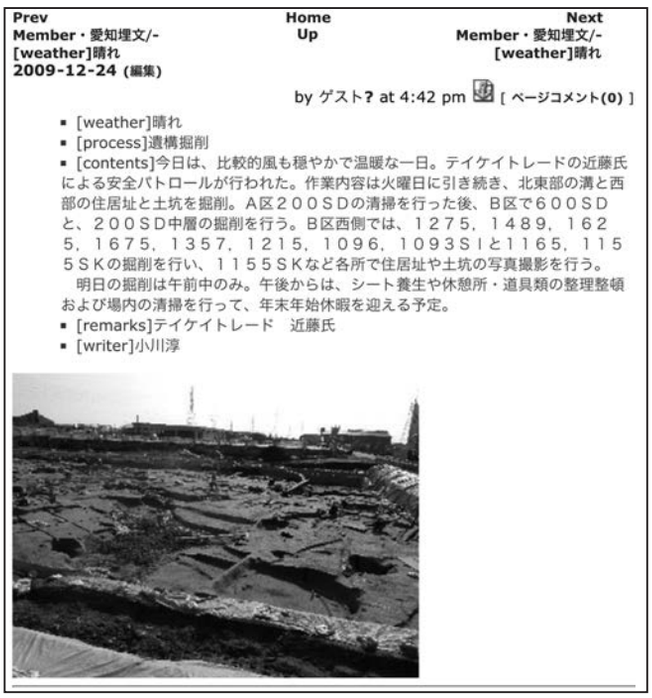
打ち合わせ記録の例

調査日誌等はインターネットでの書き込みによる。短期間のときは PDF ファイル。

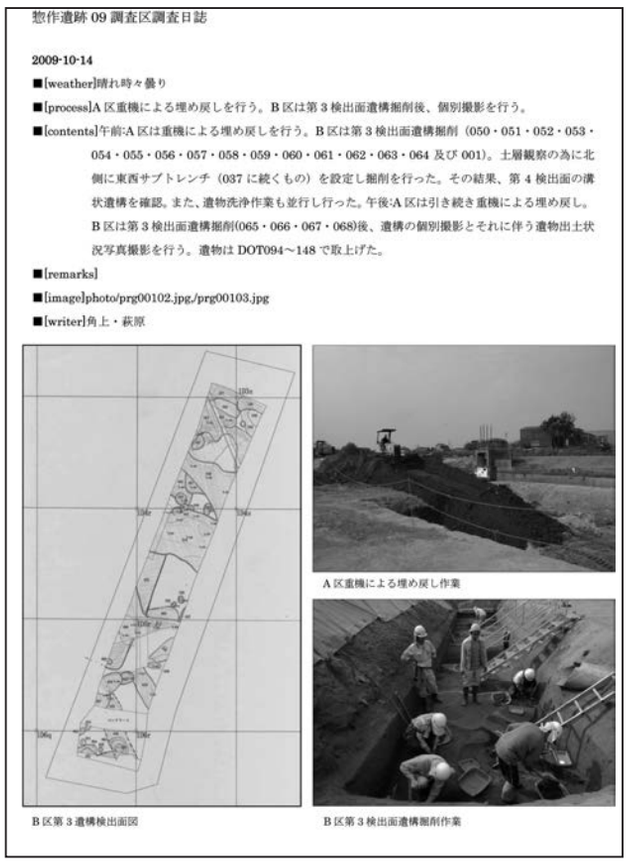
調査日誌については、Web による入力を実施する場合、電子納品時のフォルダーに格納する必要はない。
また調査日誌の出力が必要となる場合は、愛知県埋蔵文化財センターが出力を行う。

遺構属性表などの最低限必要とする項目は『てびき』発掘編 P.247 に掲載。
属性表は遺跡の特性に合わせて項目を増やすことができる。
（例：遺構内遺構・重複先後関係・断面図有無など）。
遺物属性表とは、Dot 取り上げ重要遺物の一覧である。

c 各種図面


Prev　Home　Next
Member・愛知埋文/-
[weather]晴れ
2009-12-24 (編集)
Up
Member・愛知埋文/-
[weather]晴れ
by ゲスト? at 4:42 pm [ページコメント(0)]
- [weather]晴れ
- [process]遺構掘削
- [contents]今日は、比較的風も穏やかで温暖な一日。テイケイトレードの近藤氏による安全パトロールが行われた。作業内容は火曜日に引き続き、北東部の溝と西部の住居址と土坑を掘削。A区２００ＳＤの清掃を行った後、B区で６００ＳＤと、２００ＳＤ中層の掘削を行う。B区西側では、１２７５，１４８９，１６２５，１６７５，１３５７，１２１５，１０９６，１０９３ＳＩと１１６５，１１５５ＳＫの掘削を行い、１１５５ＳＫなど各所で住居址や土坑の写真撮影を行う。
明日の掘削は午前中のみ。午後からは、シート養生や休憩所・道具類の整理整頓および場内の清掃を行って、年末年始休暇を迎える予定。
- [remarks]テイケイトレード　近藤氏
- [writer]小川淳

インターネットで書き込む調査日誌


惣作遺跡 09 調査区調査日誌
2009-10-14
■[weather]晴れ時々曇り
■[process]A 区重機による埋め戻しを行う。B 区は第 3 検出面遺構掘削後、個別撮影を行う。
■[contents]午前:A 区は重機による埋め戻しを行う。B 区は第 3 検出面遺構掘削（050・051・052・053・054・055・056・057・058・059・060・061・062・063・064 及び 001）。土層観察の為に北側に東西サブトレンチ（037 に続くもの）を設定し掘削を行った。その結果、第 4 検出面の溝状遺構を確認。また、遺物洗浄作業も並行し行った。午後:A 区は引き続き重機による埋め戻し。
B 区は第 3 検出面遺構掘削(065・066・067・068)後、遺構の個別撮影とそれに伴う遺物出土状況写真撮影を行う。遺物は DOT094～148 で取上げた。
■[remarks]
■[image]photo/prg00102.jpg,/prg00103.jpg
■[writer]角上・萩原
A 区重機による埋め戻し作業
B 区第 3 遺構検出面図
B 区第 3 検出面遺構掘削作業

ワープロ・ソフトで作成し PDF 化した調査日誌

↓遺構一覧表

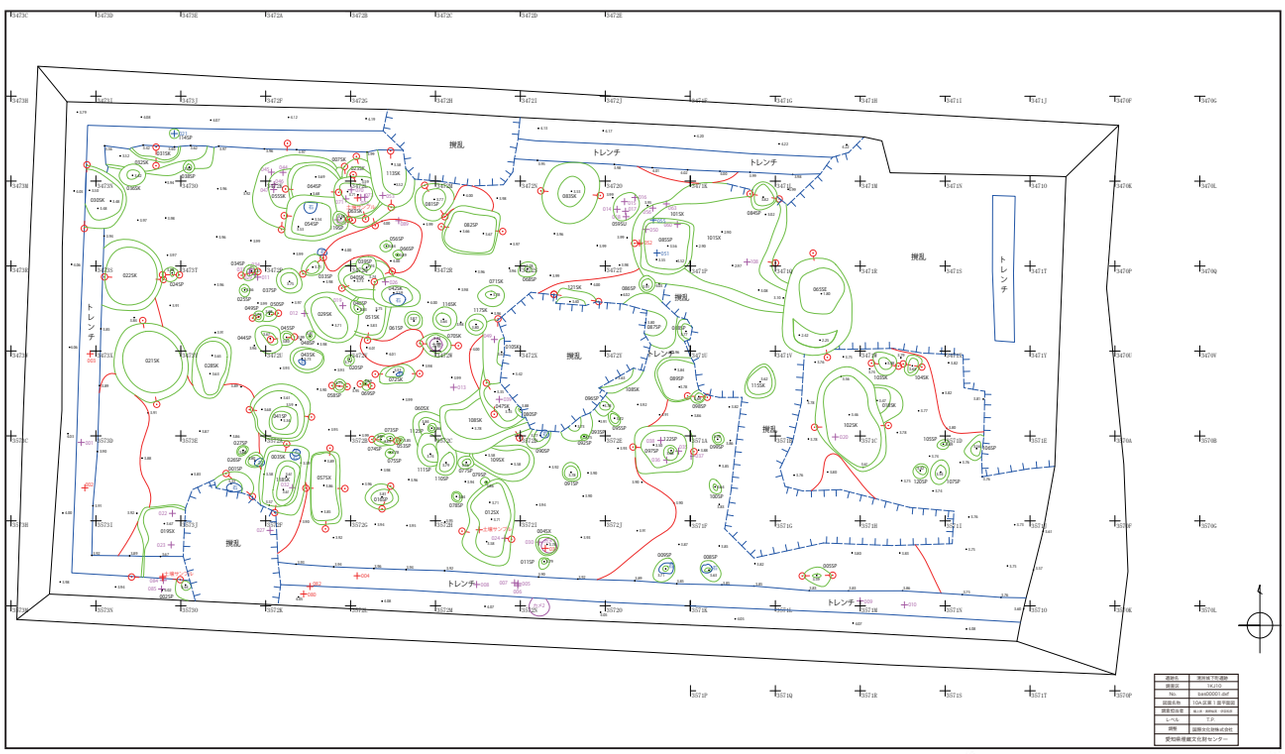
調査区	遺構記号	グリッド	地層	長軸	短軸	深さ	埋土	調査日時	出土遺物	備考	所属遺構	切り合い(古→新)		
A	0001SD	1J11f	1面	1.51	0.32	0.04	10YR5/1褐灰色	2009-07-07						
A	0002SK	1J12f	1面	0.74	0.67	0.08	N3/0暗灰色シル	2009-07-07	土器					
A	0003SP	1J11f	1面	-0.23	0.2	0.02	10YR5/1褐灰色	2009-07-07						
A	0004SP	1J11f	1面	0.2	0.17	0.04	10YR5/1褐灰色	2009-07-07						
A	0005SP	1J11f	1面	0.26	0.2	0.04	10YR5/1褐灰色	2009-07-07						

↓遺物一覧表

調査区	番号	種別	X	Y	Z	場所	日時	時期	備考	層位
09A2	1	土器	-85031.583	-37089.697	-0.733	200SD	2009-06-04	弥生中期後葉		層位不明
09A2	2	土器	-85031.563	-37089.808	-0.753	200SD	2009-06-04	弥生中期後葉		層位不明
09A1	3	石器	-85049.298	-37092.005	0.904	検出1	2009-07-09		石鏃	
09A2	4	土器	-85035.984	-37096.269	0.449	200SD	2009-07-23	弥生中期後葉		
09A2	5	石	-85038.644	-37096.464	0.554	200SD	2009-07-24			

各種遺構図面データは DXF 形式のデジタルデータで保管する。
○基本平面図（最終的な遺構の位置情報となるもの。グリッド表示が必須）
○基本断面図（調査区基本土層図。スケール・バー表示が必須）
○個別補足図（竪穴建物跡・井戸や、遺構内遺構があるなど複雑な状況の場合。
　　平面・断面図・出土状態図を効果的に配置する）。

d 写真



↑基本平面図（分割せず、なるべく１つのデータとして作成）

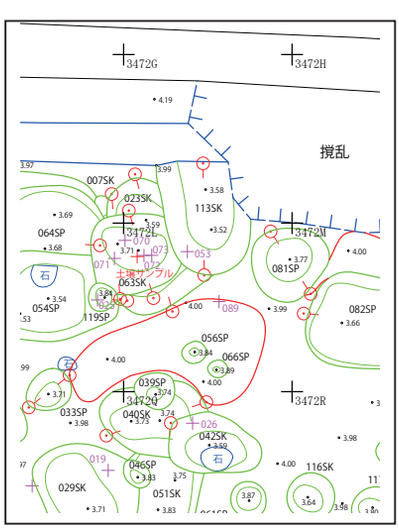
基本平面図に付すインデックス→

遺跡名	清洲城下町遺跡
調査区	1KJ10
No.	bas00001.dxf
図面名称	10A 区第 1 面平面図
調査担当者	磯上昇・奥野絵美・伊奈和彦
レベル	T.P.
調整	国際文化財株式会社
愛知県埋蔵文化財センター	

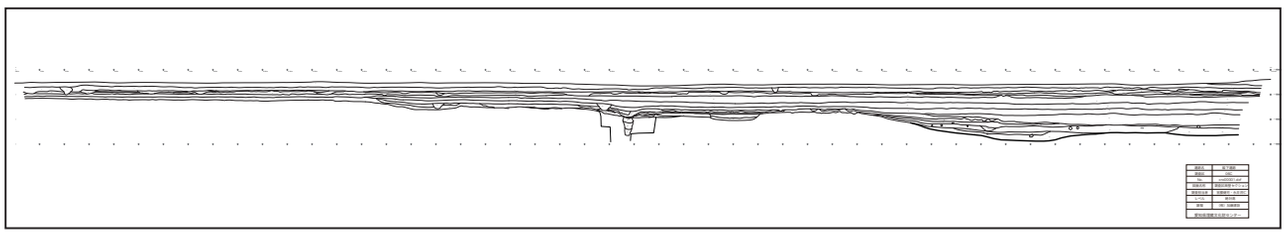
平面図線種・記号の仕様

線　種	
———	実線
長さ3.5mm 間隔1.0mm	破線
長さ5.0mm 間隔1.0mm 高3.0mm	特殊線

記　号	
方3.0mm	メッシュ杭
径3.0mm 長さ2.0mm	セクションポイント
長3.0mm	土器出土地点
径0.4mm	レベル・標高点
撹乱	撹乱
長2.0mm	トレンチ
長5.0mm	グリッド



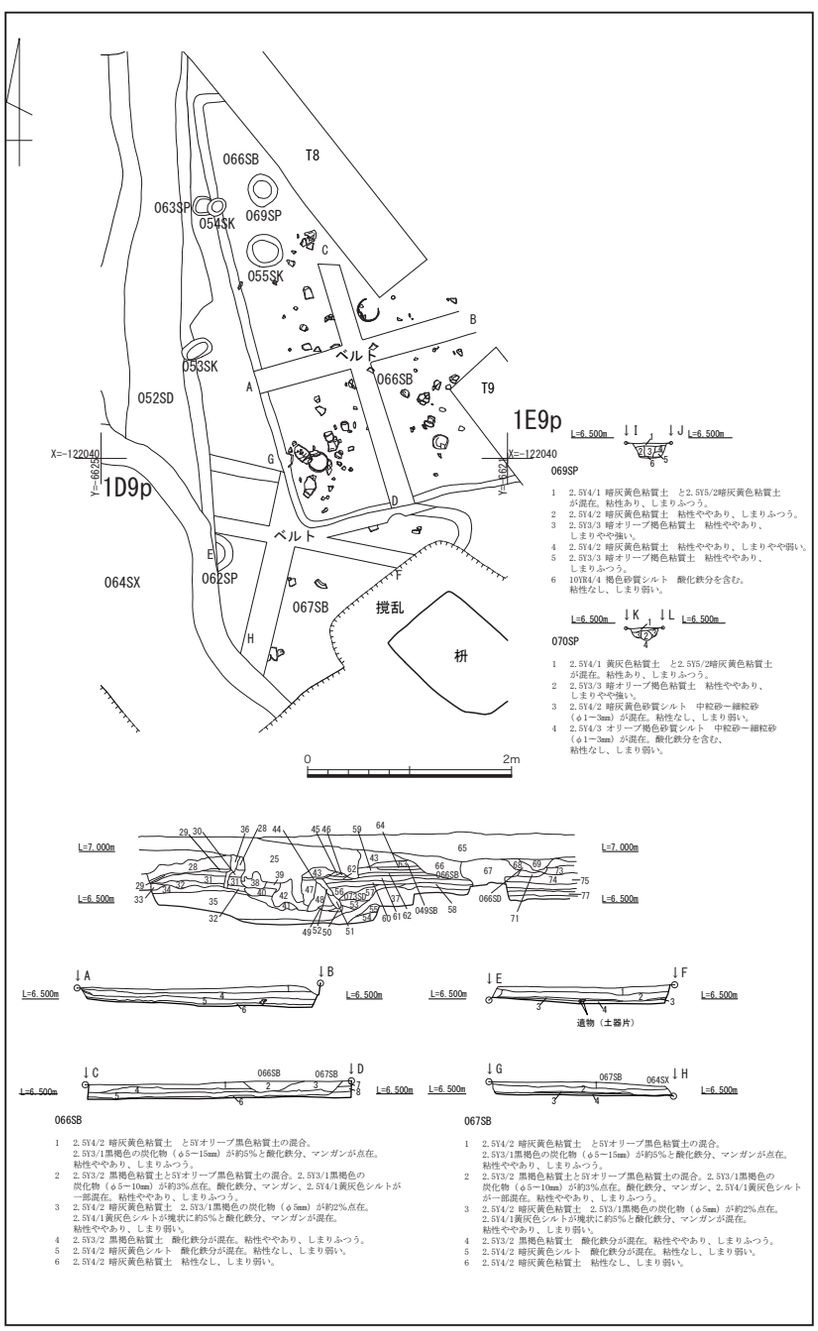
清洲城下町遺跡 10 の遺構平面

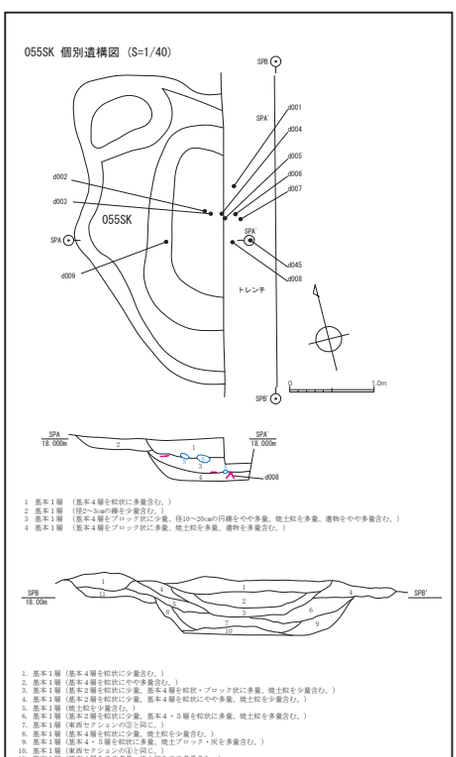


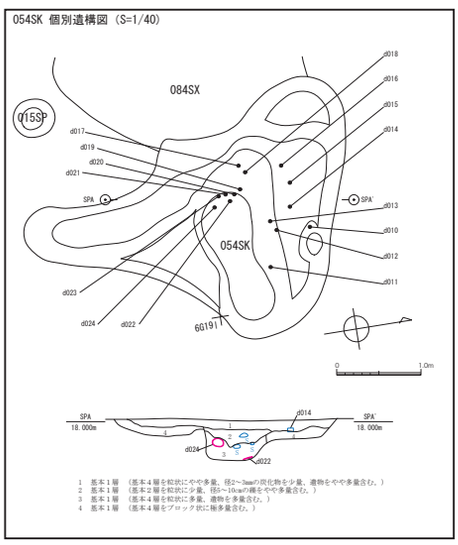
↑基本断面図（平面図同様に分割せず、なるべく１つのデータとして作成）

断面図に付すインデックス→

遺跡名	姫下遺跡
調査区	06C
No.	cro00001.dxf
図面名称	調査区西壁セクション
調査担当者	宮腰健司・永井邦仁
レベル	T.P.
調整	（株）加藤建設
愛知県埋蔵文化財センター	







↑個別補足図（平面図・断面図・出土状態図を１ファイルに配置。
遺物出土地点を表示。なるべく縮尺を統一する。スケール・バーを必ず入れる。）

デジタルマッピングデータ取得仕様一覧

図式分類コード	データタイプ	図式分類名称	色	線種	線号	データ入力仕様
1001	E2	遺構上端	緑	実線	6	遺構の上端を時計回りに取得する
10011	E2	遺構上端（陰線）		実線	6	ベルトの下等、地表面にでていない部分を時計回りに取得する
1002	E2	遺構中端	緑	実線	3	遺構の中端を時計回りに取得する
10021	E2	遺構中端（陰線）		実線	3	ベルトの下等、地表面に出ていない部分を時計回りに取得する
1003	E2	遺構下端	緑	実線	2	遺構下端を時計回りに取得する
10031	E2	遺構下端（陰線）		実線	2	ベルトの下等、地表面に出ていない部分を時計回りに取得する
2001	E2	石	青	実線	4	石の外周を時計回りに取得する
2002	E2	石（稜線）	青	実線	2	石の形状を表現するための線
2003	E2	木	茶	実線	4	木の外周を時計回りに取得する
2004	E2	木（稜線）	茶	実線	2	木の形状を表現するための線
2005	E2	土器・瓦	ピンク	実線	4	土器の外周を時計回りに取得する
2006	E2	土器・瓦（稜線）	ピンク	実線	2	土器の形状を表現するための線
3001	E2	ベルト	青	実線	2	遺構内部において地層調査のため残した部分
3002	E2	撹乱	青	特殊線	6	撹乱の上場を時計回りに取得する
3003	E2	トレンチ	青	実線	6	トレンチ調査用の溝
3004	E2	調査区	黒	実線	4	調査範囲
3005	E5	メッシュ杭	赤		2	５ｍ座標・シンボルを配置する
3006	E5	セクションポイント	赤		4	座標値入力によりシンボルを配置する
3007	E5･E7	土器出土地点	赤		4	座標値入力によりシンボルを配置し、点名を注記する
4001	E2	等高線（計曲線）	朱	実線	6	主曲線より起算して５本目ごとの主曲線を６号にて表示
40011	E2	等高線（計曲陰線）		実線	6	遺構上端と下端の間は陰線にて図面上には表示しない
4002	E2	等高線（主曲線）	朱	実線	3	平均海面より起算して 10㎝ ごとに表示する
40021	E2	等高線（主曲陰線）		実線	3	遺構上端と下端の間は陰線にて取得し図面上には表示しない
4003	E2	等高線（間曲線）	朱	破線	3	主曲線だけでは表現困難な場合、主曲線間隔の 1/2 にて表示する
40031	E2	等高線（間曲陰線）		破線	3	遺構上端と下端の間は陰線にて取得し図面上には表示しない
4004	E5･E7	レベル（標高点）	黒		4	後に遺構の縦断図が描けるように表示する
5001	E5･E7	注記（撹乱）	黒		4	撹乱の中央に「撹乱」の表記またはシンボルにて表示する
5002	E5･E7	注記（トレンチ）	黒		4	トレンチ内部に「T」の表記またはシンボルにて表示する
5003	E7	注記（遺構番号）	黒		6	注記にて表示する
5004	E7	等高線数値	黒		4	等高線数値の文字の下はデータを間断しない
6001	E2	整飾（外枠）	黒	実線	10	
6002	E2	整飾（内枠）	黒	実線	3	
6003	E2	グリッド	黒	実線	3	
6004	E7	メッシュ番号	黒		6	
6005	E7	座標値	黒		3	
7001	E2	その他	黒	実線	6	

データタイプ

データタイプ	レコードタイプ
面	E1
線	E2
円	E3
円弧	E4
点	E5
方向	E6
注記	E7
属性	E8

線の区分

線号	線の太さ	備考
１号	0.05㎜	
２号	0.10㎜	
３号	0.15㎜	
４号	0.20㎜	
５号	0.25㎜	
６号	0.30㎜	
10 号	0.50㎜	

線の太さの許容誤差は、各線号を通じて ± 0.025㎜ とする

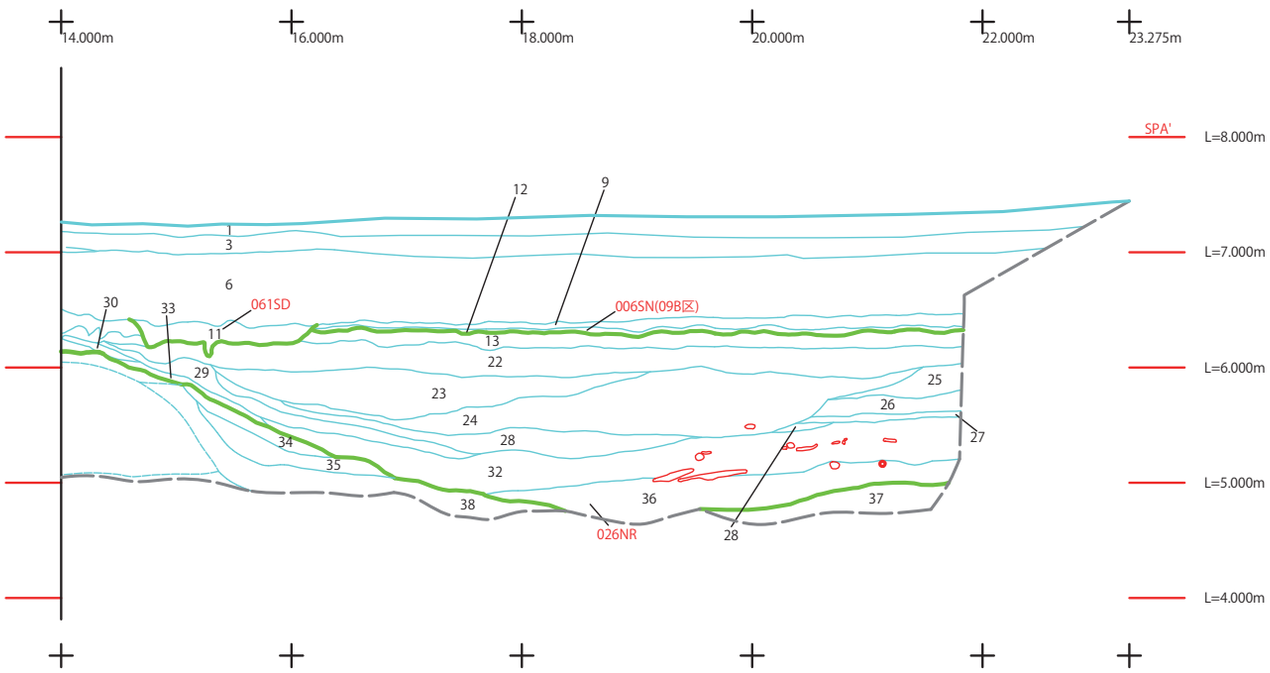
注記サイズ

分類コード	表示対象	字大（㎜）	字隔（㎜）
3007	土器出土地点	2.0	0.0
4004	レベル（標高点）	1.5	0.0
5001	撹乱	3.0	3.0
5002	トレンチ	2.0	0.0
5003	遺構番号	2.0	0.0
5004	等高線数値	1.5	0.0
6004	メッシュ番号	4.0	0.0
6005	座標値	1.5	0.0

海抜標高については基本的に
T.P.（東京湾平均海面高度）を使用する

2 次元断面図線種・記号の仕様（Adobe イラストレーターの場合）

２次元断面図　＜レイヤー＞
100：枠・キャプション　他
200：断面実測線
201：レベル・基点と距離など
202：遺構番号
300：層名キャプション（土層説明）
301：層位番号（図中）



22. 10YR3/2　黒褐色　　粘土。極細粒砂。炭化物。026NR。NR-1層下部。
23. 10YR3/1　黒褐色　　粘土。極細粒砂。炭化物。026NR。NR-2a層。
24. 10YR2/1　黒色　　粘土。炭化物。026NR。NR-2b層。
25. 10YR2/2　黒褐色　　粘土。極細粒砂。炭化物。026NR。NR-3a層。
26. 2.5Y3/2　黒褐色　　粘土。5Y7/1灰白色粘土ブロック。植物質（草本類）非常に多い。026NR。NR-3a層。
27. 2.5Y2/1　黒色　　粘土。5Y5/1灰色粘土ブロック。026NR。NR-3a層。
28. 5Y3/1　オリーブ黒色　粘土。7.5Y4/1灰色粘土の混土。炭化物。026NR。NR-3a層。
29. 2.5GY4/1　暗オリーブ灰色　粘土。10YR2/1黒色粘土の混土。026NR。
30. 10YR5/1　褐灰色　　シルト。5Y5/1灰色粘土の混土。026NR。
31. 7.5Y6/1　灰色　　シルト。5Y5/1灰色粘土の混土。026NR。
32. 7.5Y4/1　灰色　　粘土。流木。木製品多く出土。炭化物。026NR。NR-3b層。
33. 10YR4/2　灰黄色　　粘質シルト。026NR。NR-3b層。
34. 7.5Y4/1　灰色　　極細粒砂。炭化物。
35. N3/　灰色　　極細粒砂。細粒砂。炭化物。
36. 5Y3/2　オリーブ黒色　粘質シルト。極細粒砂～細粒砂。026NR。NR-3c層。
37. 10Y8/1　灰白色　　中礫。炭化物。
38. 2.5GY4/1　暗オリーブ灰色　極細粒砂。細礫。炭化物。流木小片あり。
39. 7.5Y7/1　灰白色　　細粒砂。
40. 7.5Y7/2　灰白色　　極細粒砂。7.5Y3/2オリーブ黒色極細粒砂とラミナ堆積。植物質若干含む。

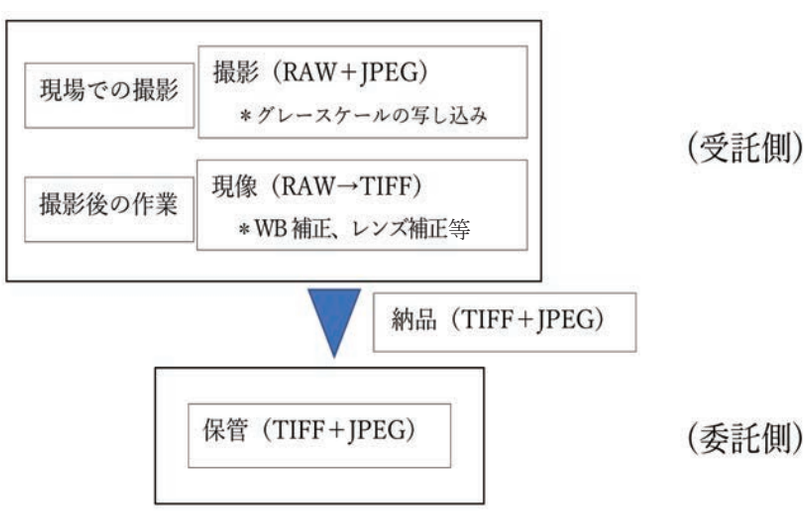
(記録者　永井邦仁・安生素明)

報告書写真や活用は、基本的にデジタル画像（成果写真）を基にする。
データの取り扱いについては下記を必ず参照。

『埋蔵文化財保護行政におけるデジタル技術の導入について 1 』（報告）
（http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/pdf/hokoku_11.pdf）

保存は JPEG と TIFF。
JPEG データは撮影時のもので、改変は認めない（ファイル名変更のみ）。
RAW 方式で撮影したものは、TIFF への現像処理を行ったうえで納品。

写真は、調査進行記録（工程写真 prg）と調査成果（成果写真 rec）、現像した写真（spe）、その他（etc）に区別する。
○工程写真は、会議資料や HP、業務内容写真などに利用することを目的とする。
有効画素数 1000 万画素以上のデジタルカメラを使用。
2 ～ 3Mb を目安とする。
1800 ～ 2000 ピクセル前後が望ましい。JPEG 標準圧縮で保存。
○成果写真は、報告書などの記録用として利用することを目的とする。
したがって画像は高画質が求められる。
撮影に際しては、三脚等を使用し、手ブレ等の防止に注意を払うこと。
成果写真のうち、特に重要な写真（特に管理員が指示した写真）は RAW データで撮影を行うこと。
RAW データでの撮影枚数は、成果写真全体の 10% 程度とする。　RAW データで撮影したものは、現像作業（ホワイトバランス調整・レンズ補正等）を行った上で、TIFF 形式で保存する（100MB ～ 150MB が目安）。
＊成果写真に使用する一眼レフデジタルカメラの仕様は以下のとおりである。
（1）一眼レフデジタルカメラ
（2）ボディ　イメージセンサーサイズ：フルサイズ（約 36 mm× 24 mm）
有効画素数：2000 万画素以上
セルフクリーニング機能付き
（3）レンズ　広角系ズームレンズ（24 ～ 70mm）と
望遠系ズームレンズ（70 ～ 300mm）
○必要に応じて動画を撮影する。





写真撮影は三脚使用を基本とする



手持ちで撮影する時の姿勢

e 電子納品データ整理規則

<< 納品媒体 >>

電子納品の媒体は CD-R・DVD・ハードディスクをいずれかを利用する。
媒体の選択は、データ容量に準じて、受発注者間協議にて決定すること。
また下記の内容を媒体に添付（明記）すること。

＊ラベル (案)

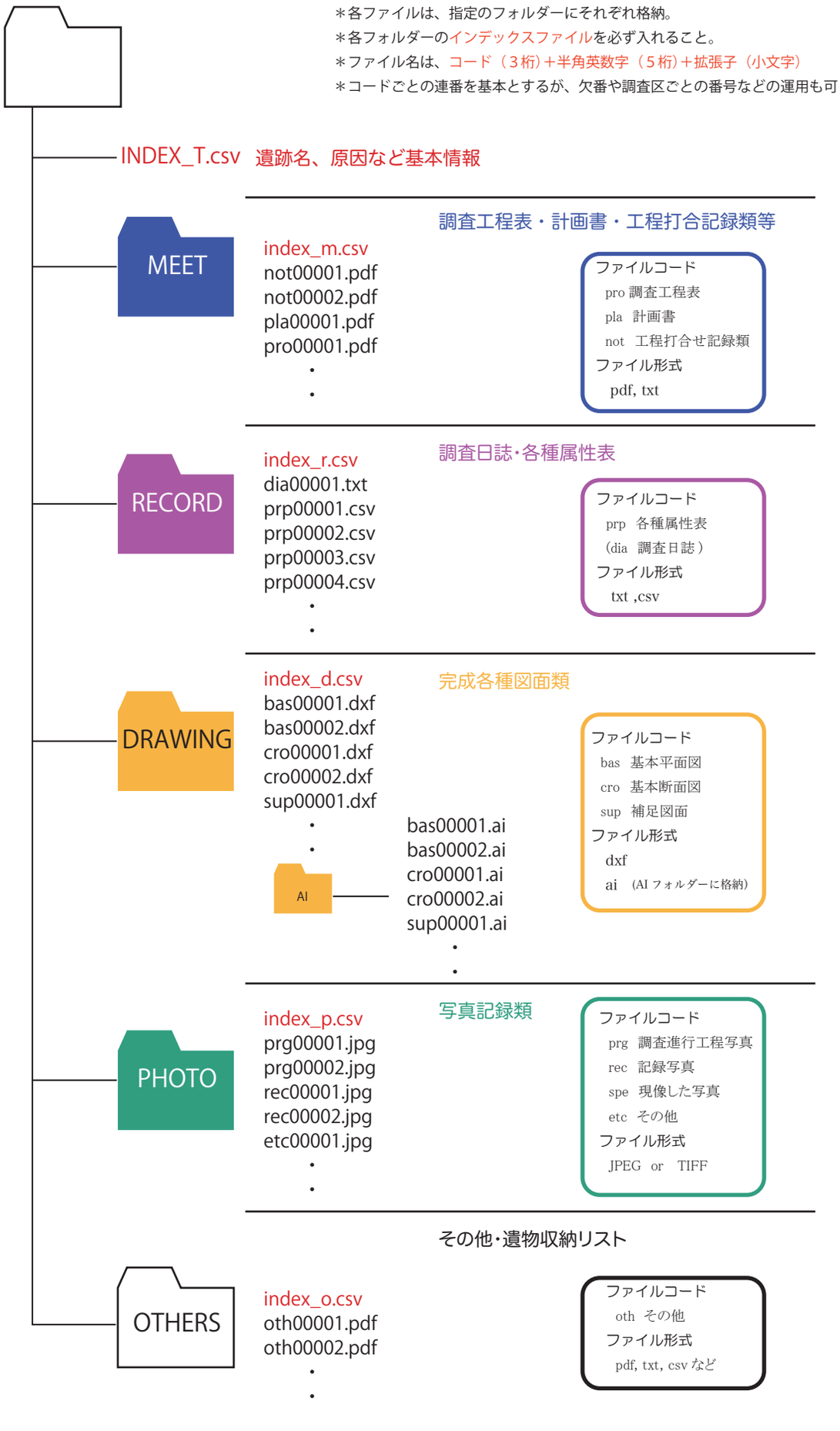
平成〇〇年度遺跡調査業務委託その 1(〇〇遺跡)

平成〇〇年〇月 (納品日時)
発注者：愛知県埋蔵文化財センター
受注者：〇〇〇〇

<< フォルダー構成およびファイル名の付け方 >>

フォルダー内を階層化しない。
フォルダー名は、大文字。
各フォルダーには、ファイル名一覧のインデックスファイルを作成し、格納する。
ファイル名は、拡張子を含めて全て小文字。
コード3桁＋半角英数字5桁＋拡張子「〇〇〇×××××．拡張子」とする。
半角英数字5桁はコードごとの通番を基本とする。
各ファイルは、決められたフォルダーに格納。

＊各ファイルは、TXT、PDF、JPG など汎用性のあるファイル形式。
＊各ファイルは、指定のフォルダーにそれぞれ格納。
＊各フォルダーのインデックスファイルを必ず入れること。
＊ファイル名は、コード（３桁）＋半角英数字（５桁）＋拡張子（小文字）
＊コードごとの連番を基本とするが、欠番や調査区ごとの番号などの運用も可



◎ MEET　工程会議などの資料
PDF あるいはプレーン TEXT を基本。
コード：pro 調査工程表・pla 計画書・not 工程打合せ記録類等

◎ RECORD　各種記録類
調査日誌は wiki 書き出し PDF。各種属性表は CSV を基本。
コード：dia 調査日誌・prp 各種属性表

◎ DRAWING　各種図面類
DXF が基本。AI データ（イラストレータファイル）も別途作成してください。
コード：bas 基本平面図・cro 基本断面図・sup 補足図面

◎ PHOTO　　写真
JPEG あるいは TIFF。
コード：prg 調査進行工程写真・rec 記録写真・spe 現像した写真・etc その他

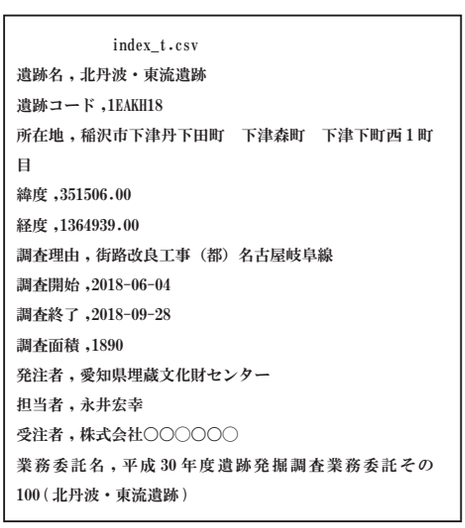
◎ OTHERS　　その他書類・遺物収納リスト等
PDF、プレーン TEXT を基本。
コード：oth その他
＊遺物収納リストは , 遺物を搬入する際のメモ的な記録。
＊木質遺物は別リストを作成のこと。
＊メモ的な記録のため、手書きリスト、エクセルファイルでも可。

<< 各フォルダー内インデックスファイル >>
● index_t.csv　契約情報など
緯度 35 度 15 分 06.00 秒の場合は 351506.00
経度 136 度 49 分 39 秒の場合は 1364939.00
面積の単位は平米
「担当者」は愛知埋文セ担当者代表名
禁止する記号について：ドット・スラッシュ・丸文字・カンマ　全角半角空白



	A	B
	遺跡名	北丹波・東流遺跡
	遺跡コード	1EKH18
	遺跡住所	稲沢市下津丹下田町 下津森町 下津下町西1丁目
	緯度	351506.00
	経度	1364939.00
	調査原因	街路改良工事（都）名古屋岐阜線
	調査開始	2018-06-04
	調査終了	2018-09-28
	調査面積	1890
0	発注者	愛知県埋蔵文化財センター
1	担当者	永井宏幸
2	受注者	株式会社〇〇〇〇〇〇
3	業務委託名	平成30年度遺跡発掘調査業務委託その100(北丹波・東流遺跡)

▲スプレットシート記入例



index_t.csv
遺跡名，北丹波・東流遺跡
遺跡コード ,1EAKH18
所在地，稲沢市下津丹下田町　下津森町　下津下町西 1 町目
緯度 ,351506.00
経度 ,1364939.00
調査理由，街路改良工事（都）名古屋岐阜線
調査開始 ,2018-06-04
調査終了 ,2018-09-28
調査面積 ,1890
発注者，愛知県埋蔵文化財センター
担当者，永井宏幸
受注者，株式会社〇〇〇〇〇〇
業務委託名，平成 30 年度遺跡発掘調査業務委託その 100（北丹波・東流遺跡）

▲ CSV 書き出し例

●各フォルダーのインデックスファイル
以下の4項目をこの順序通りに記入すること。

maib_name：　ファイル名
maib_zone：　調査区名（ex.18Ab）
maib_stage：　調査面（ex.1）
maib_text：　概要（ファイルのタイトルなど）
maib_comment：備考

○ index_m.csv　MEET フォルダーのインデックスファイル見本

	A	B	C	D	E
1	folder MEET				
2	maib_name	maib_zone	maib_stage	maib_text	maib_comment
3	not00001.pdf	18		打ち合わせ記録簿	2018-06-07
4	not00002.pdf	18		打ち合わせ記録簿	2018-06-14
5	not00003.pdf	18		打ち合わせ記録簿	2018-06-21
6	not00004.pdf	18		打ち合わせ記録簿	2018-06-27
7	not00005.pdf	18		打ち合わせ記録簿	2018-07-05
8	not00006.pdf	18		打ち合わせ記録簿	2018-07-12
9	not00007.pdf	18		打ち合わせ記録簿	2018-07-19
10	not00008.pdf	18		打ち合わせ記録簿	2018-07-26
11	not00009.pdf	18		打ち合わせ記録簿	2018-08-02
12	not00010.pdf	18		打ち合わせ記録簿	2018-08-09
13	not00011.pdf	18		打ち合わせ記録簿	2018-08-16
14	not00012.pdf	18		打ち合わせ記録簿	2018-08-23
15	not00013.pdf	18		打ち合わせ記録簿	2018-08-30
16	not00014.pdf	18		打ち合わせ記録簿	2018-09-06
17	not00015.pdf	18		打ち合わせ記録簿（一宮建設事務所）	2018-06-26
18	not00016.pdf	18		打ち合わせ記録簿（一宮建設事務所）	2018-07-23
19	not00017.pdf	18		打ち合わせ記録簿（一宮建設事務所）	2018-08-20

▲スプレットシート記入例

```
index_m.csv
maib_name,maib_zone,maib_stage,maib_text,maib_comment
not00001.pdf,18,,打ち合わせ記録簿,2018-06-07-
not00002.pdf,18,,打ち合わせ記録簿,2018-06-14
not00003.pdf,18,,打ち合わせ記録簿,2018-06-21
not00004.pdf,18,,打ち合わせ記録簿,2018-06-27
not00005.pdf,18,,打ち合わせ記録簿,2018-07-05
not00006.pdf,18,,打ち合わせ記録簿,2018-07-12
not00007.pdf,18,,打ち合わせ記録簿,2018-07-19
not00008.pdf,18,,打ち合わせ記録簿,2018-07-26
not00009.pdf,18,,打ち合わせ記録簿,2018-08-02
not00010.pdf,18,,打ち合わせ記録簿,2018-08-09-
not00011.pdf,18,,打ち合わせ記録簿,2018-08-16
not00012.pdf,18,,打ち合わせ記録簿,2018-08-23
not00013.pdf,18,,打ち合わせ記録簿,2018-08-30
not00014.pdf,18,,打ち合わせ記録簿,2018-09-06
not00015.pdf,18,,打ち合わせ記録簿（一宮建設事務所）,2018-06-26
not00016.pdf,18,,打ち合わせ記録簿（一宮建設事務所）,2018-07-23
not00017.pdf,18,,打ち合わせ記録簿（一宮建設事務所）,2018-08-20
not00018.pdf,18,,打ち合わせ記録簿（一宮建設事務所）,2018-09-05
pla00001.pdf,18,,調査工程表,
```

▲ CSV ファイル内容例

○ index_r.csv　RECOERD フォルダーのインデックスファイル見本

	A	B	C	D	E
1	folder RECORD				
2	maib_name	maib_zone	maib.stage	maib.text	maib.comment
3	prp00001.csv	18		北丹波・東流遺跡(2018年度)遺構一覧	2018-09-26
4	prp00002.csv	18		北丹波・東流遺跡(2018年度)番号付遺物	2018-09-26
5	prp00003.csv	18		北丹波・東流遺跡(2018年度)一般遺物	2018-09-26
6	prp00004.csv	18		北丹波・東流遺跡(2018年度)収納リスト	2018-09-26

▲スプレットシート記入例

```
index_r.csv
maib_name,maib_zone,maib.stage,maib.text,maib.comment
prp00001.csv,18,,北丹波・東流遺跡（2018 年度）遺構一覧,2018-09-26
prp00002.csv,18,,北丹波・東流遺跡（2018 年度）番号付遺物,2018-09-26
prp00003.csv,18,,北丹波・東流遺跡（2018 年度）一般遺物,2018-09-26
prp00004.csv,18,,北丹波・東流遺跡（2018 年度）収納リスト,2018-09-26
dia00001.jpg,18,,北丹波・東流遺跡（2018 年度）日誌原稿,2018-09-26
```

▲ CSV ファイル内容例

○ index_d.csv　DRAWING フォルダーのインデックスファイル見本

	A	B	C	D	E
1	folder DRAWING				
2	maib.name	maib.zone	maib.stage	maib.text	maib.comment
3	bas00001.dxf	18	1	中世1面目　平面図	
4	bas00002.dxf	18	2	古代2面目　平面図	
5	bas00003.dxf	18	3	古墳3面目　平面図	
6	cro00001.dxf	18		調査区西壁断面図	20分の1
7	cro00002.dxf	18		調査区南壁断面図	20分の1
8	cro00003.dxf	18		調査区北壁断面図	20分の1
9	cro00004.dxf	18		調査区南端部東壁断面図	20分の1
10	sup00001.dxf	18	1	調査区1面目個別遺構平面図・断面図 (001SP,002SP,003SP,004SP,005SP,006SP,007SP,010SP,011SP,012SP,015SK,016SP,017SP,018SP,089SX,090SX,093SK,094SK,095SK,096SK,102SE,105SK)	20分の1
11	sup00002.dxf	18	1	調査区1面目個別遺構平面図・断面図 (009SD,053SD,085SD,086SD,087SD,088SD,092SD,106SD)	20分の1

▲スプレットシート記入例

```
index_d.scv
maib.name,maib.zone,maib.stage,maib.text,maib.comment
bas00001.dxf,18,1,中世1面目　平面図,
bas00002.dxf,18,2,古代2面目　平面図,
bas00003.dxf,18,3,古墳3面目　平面図,
cro00001.dxf,18,,調査区西壁断面図,20分の1
cro00002.dxf,18,,調査区南壁断面図,20分の1
cro00003.dxf,18,,調査区北壁断面図,20分の1
cro00004.dxf,18,,調査区南端部東壁断面図,20分の1
sup00001.dxf,18,1,調査区1面目個別遺構平面図・断面図(001SP,002SP,003SP,004SP,005SP,006SP,007SP,010SP,011SP,012SP,015SK,016SP,017SP,018SP,089SX,090SX,093SK,094SK,095SK,096SK,102SE,105SK),20分の1
sup00002.dxf,18,1,調査区1面目個別遺構平面図・断面図(009SD,053SD,085SD,086SD,087SD,088SD,092SD,106SD),20分の1
```

▲ CSV ファイル内容例

○ index_p.csv　PHOTO フォルダーのインデックスファイル見本

	A	B	C	D	
1	maib_name	maib_zone	maib.stage	maib.text	mait
2	prg00001.jpg	18		現場事務所敷地全景	201
3	prg00002.jpg	18		現場事務所設置状況	201
4	prg00003.jpg	18		現場事務所設置状況	201
5	prg00004.jpg	18		現場事務所設置状況	201
6	prg00005.jpg	18		現場事務所設置状況(造作)	201
7	prg00006.jpg	18		現場事務所設置完了(南西より)	201
8	rec00001.jpg	18	1	B区-壁面状況(東から)	201
9	rec00002.jpg	18	1	B区-先行Tr須恵器瓶D-0001(南から)	201
10	rec00003.jpg	18	1	B区-先行Tr須恵器瓶D-0001(南から)	201
11	rec00004.jpg	18	1	B区-先行Tr須恵器瓶D-0001	201
12	rec00005.jpg	18	1	B区-先行Tr須恵器瓶D-0001(南から)	201
13	rec00006.jpg	18	1	B区-先行Tr須恵器瓶D-0001(南から)	201
14	rec00007.jpg	18	1	B区-先行Tr須恵器瓶D-0002(東から)	201
15	rec00008.jpg	18	1	B区-先行Tr須恵器瓶D-0002(東から)	201
16	rec00009.jpg	18	1	B区-先行Tr須恵器瓶D-0002	201
17	rec00010.jpg	18	1	B区-先行Tr須恵器瓶D-0002(東から)	201
18	rec00011.jpg	18	1	B区-先行Tr須恵器瓶D-0002(東から)	201
19	rec00012.jpg	18	1	B区-009SD木杭D-0003	201
20	rec00013.jpg	18	1	B区-009SD木杭D-0003(南から)	201

▲スプレットシート記入例

```
index_d.csv
maib_name,maib_zone,maib.stage,maib.text,maib.comment,
prg00001.jpg,18,,現場事務所敷地全景, 2018-05-09,
prg00002.jpg,18,,現場事務所設置状況, 2018-05-22,
prg00003.jpg,18,,現場事務所設置状況, 2018-05-22,
prg00004.jpg,18,,現場事務所設置状況, 2018-05-22,
prg00005.jpg,18,,現場事務所設置状況(造作), 2018-05-22,
prg00006.jpg,18,,現場事務所設置完了(南西より), 2018-07-13,
rec00001.jpg,18,1,B区-壁面状況(東から), 2018-06-04,
rec00002.jpg,18,1,B区-先行Tr須恵器瓶D-0001(南から), 2018-06-04　グリッド:920025,
rec00003.jpg,18,1,B区-先行Tr須恵器瓶D-0001(南から), 2018-06-04　グリッド:920025,
rec00004.jpg,18,1,B区-先行Tr須恵器瓶D-0001, 2018-06-04　グリッド:920025,
rec00005.jpg,18,1,B区-先行Tr須恵器瓶D-0001(南から), 2018-06-04　グリッド:920025,
rec00006.jpg,18,1,B区-先行Tr須恵器瓶D-0001(南から), 2018-06-04　グリッド:920025,
rec00007.jpg,18,1,B区-先行Tr須恵器瓶D-0002(東から), 2018-06-04　グリッド:920025,
rec00008.jpg,18,1,B区-先行Tr須恵器瓶D-0002(東から), 2018-06-04　グリッド:920025,
rec00009.jpg,18,1,B区-先行Tr須恵器瓶D-0002, 2018-06-04　グリッド:920025,
rec00010.jpg,18,1,B区-先行Tr須恵器瓶D-0002(東から), 2018-06-04　グリッド:920025,
rec00011.jpg,18,1,B区-先行Tr須恵器瓶D-0002(東から), 2018-06-04　グリッド:920025,
rec00012.jpg,18,1,B区-009SD木杭D-0003, 2018-06-05　グリッド:845050～920025,
rec00013.jpg,18,1,B区-009SD木杭D-0003(南から), 2018-06-
```

▲ CSV ファイル内容例

○ index_o.csv　OTHERS フォルダーのインデックスファイル見本

	A	B	C	D	E
1	folder OTHRS				
2	maib_name	maib_zone	maib.stage	maib.text	maib.comment
3	oht00003.pdf	18		作業日報(6月)	2018-06 -
4	oht00004.pdf	18		作業日報(7月)	2018-07 -
5	oht00005.pdf	18		作業日報(8月)	2018-08 -
6	oht00006.pdf	18		作業日報(9月)	2018-09 -
7	oht00007.pdf	18		安全点検記録(夏季休暇)	2018-08-13～08-15
8	oht00008.pdf	18		社内安全ﾊﾟﾄﾛｰﾙ(06.13)	2018-06-13
9	oht00009.pdf	18		社内安全ﾊﾟﾄﾛｰﾙ(07.03)	2018-07-03
10	oht00010.pdf	18		社内安全ﾊﾟﾄﾛｰﾙ(08.09)	2018-08-09
11	oht00011.pdf	18		防護柵損傷	2018-09-19
12	oht00012.pdf	18		北丹波・東流通信_07月号(表)	2018-07-13
13	oht00013.pdf	18		北丹波・東流通信_07月号(裏)	2018-07-13
14	oht00014.pdf	18		北丹波・東流通信_08月号(表)	2018-08-08

▲スプレットシート記入例

index_o.csv
maib_name,maib_zone,maib.stage,maib.text,maib.comment
oht00003.pdf,18,,作業日報（6月）,2018-06 -
oht00004.pdf,18,,作業日報（7月）,2018-07 -
oht00005.pdf,18,,作業日報（8月）,2018-08 -
oht00006.pdf,18,,作業日報（9月）,2018-09 -
oht00007.pdf,18,,安全点検記録（夏季休暇）,2018-08-13 ～ 08-15
oht00008.pdf,18,,社内安全ﾊﾟﾄﾛｰﾙ（06.13）, 2018-06-13
oht00009.pdf,18,,社内安全ﾊﾟﾄﾛｰﾙ（07.03）, 2018-07-03
oht00010.pdf,18,,社内安全ﾊﾟﾄﾛｰﾙ（08.09）, 2018-08-09
oht00011.pdf,18,,防護柵損傷 , 2018-09-19
oht00012.pdf,18,,北丹波・東流通信 _07 月号（表）, 2018-07-13
oht00013.pdf,18,,北丹波・東流通信 _07 月号（裏）, 2018-07-13
oht00014.pdf,18,,北丹波・東流通信 _08 月号（表）, 2018-08-08
oht00015.pdf,18,,北丹波・東流通信 _08 月号（裏）, 2018-08-08

▲ CSV ファイル内容例

f 出土遺物

<< 現場からの遺物搬入 >>

洗浄・乾燥が終了した遺物を、契約期間内に弥富市のセンター内に納品。
特に、木製品・金属器・分析試料は別リストを作成すること。

調査員は、納品前チェックシートを収納担当者に提出すること。

箱番号	種別	調査区	遺構等
1	土器	26A	検出、遺構出土（001SD-150SI）
2	土器	26A	遺構出土（151SX-352SE、ほか）、表土剥ぎ
3	土器	26B	検出1、撹乱
4	石器	26A/26B	検出1、北壁清掃、表土はぎ、掘り下げ1ほか
5	土器	26C	表土はぎ、南壁、北壁トレンチ、試掘トレンチ、撹乱ほか

▲コンテナリストの一例

製品	遺跡	調査区	グリッド	遺構・土層	取上番号	取り上げ日	箱番号	備考
木製品	万瀬遺跡	24A	4947	01133SP		2024/6/19	1	漆器
木製品	万瀬遺跡	24B	5342	00017SP		2024/7/17	2	漆器
木製品	万瀬遺跡	24B	5343	00021SP		2024/7/19	2	
木製品	万瀬遺跡	24B	5342	00029SK		2024/7/17	3	顔料付着
木製品	万瀬遺跡	24B	5442	00060SK	185	2024/8/1	4	

▲木製品リストの一例

製品	遺跡	調査区	グリッド	遺構・土層	取上番号	取り上げ日	箱番号	備考
金属器	万瀬遺跡	24A	4947	01133SP		2024/6/19	1	
銅製品	万瀬遺跡	24B	5342	00017SP		2024/7/17	2	
鉄滓	万瀬遺跡	24B	5343	00021SP		2024/7/19	2	
不明金属	万瀬遺跡	24B	5342	00029SK		2024/7/17	3	顔料付着
鉄滓	万瀬遺跡	24B	5442	00060SK	15	2024/8/1	4	

▲金属製品リストの一例

遺跡	調査区	グリッド	遺構・土層	取上げ番号	日時	箱番号	種類	分析目的
万瀬遺跡	23	4747	001SL	65	2024/6/27	1	炭化物	14C年代測定
万瀬遺跡	23	4747	002SL	66	2024/6/27	1	炭化物	14C年代測定
万瀬遺跡	23	4747	002SL	67	2024/6/27	1	炭化物	14C年代測定
万瀬遺跡	23	4747	292ST	68	2024/7/11	1	土壌	土壌選別
万瀬遺跡	23	4747	292ST	69	2024/7/11	1	土壌	土壌選別
万瀬遺跡	23	4747	292ST	70	2024/7/11	1	土壌	土壌選別
万瀬遺跡	23	4747	292ST	71	2024/7/11	2	土壌	土壌選別
万瀬遺跡	23	4747	782ST	72	2024/7/14	2	土壌	土壌選別
万瀬遺跡	23	4747	782ST	73	2024/7/14	2	土壌	土壌選別
万瀬遺跡	23	4747	782ST	74	2024/7/14	2	土壌	土壌選別
万瀬遺跡	23	4747	782ST	75	2024/7/14	2	土壌	土壌選別
万瀬遺跡	23	4747	782ST	76	2024/7/14	3	土壌	土壌選別
万瀬遺跡	23	4747	782ST	77	2024/7/14	3	土壌	土壌選別

▲分析試料リストの一例

調査員用遺物納品前チェックリスト

確認日　　年　　月　　日

令和　　年度　　遺跡

担当者

- ☐ 収納係との連絡は？　納品日・収納場所はどうなっていますか？
- ☐ 全納品の箱数は？　　箱
- ☐ 内訳は把握していますか？
  - ☐ 土器・石器の箱数　　箱
  - ☐ 土器・石器のコンテナリストはありますか？
  - ☐ 木製品の箱数　　箱
  - ☐ 木製品のリストはありますか？
  - ☐ 分析用木質遺物は、分けてありますか？　　箱　袋
  - ☐ 土壌サンプルなどの数　　箱　袋
  - ☐ 土壌サンプルなどのリストはありますか？
- ☐ その他、特筆すべき事項は？